



ル爲ニ、農地ノ造成及び改良ヲ促進スル目的ヲ以テ立案シタト云フ御説明デアリマスガ、誠ニ時代ノ要求ニ適應シタ法案デアルト考ヘテ居リマス、法案ノ其ノ内容ニ付キマシテハ、是迄ノ御説明竝ニ衆議院ノ議事録等ニ依リマシテ、大體了承致シテ居リマス、私ハ只今大臣ヲ煩ハシマスモノハ、本法案ニ直接ノ問題デハナイカモ知レマセヌガ、食糧生産確保ノ見地カラ致シマシテ、只今迄速記録等ニ見當ラスト考ヘマスル二三ノ問題ニ付キマシテ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、併シナガラ私ノ是カラ伺ヒマスル點ハ、今ニ始タ問題デハアリマセヌ、從來長イ間屢々論ゼラレタ問題デアリマスガドウモ今迄其ノ問題ニ對シテノ、徹底的ノ檢討施設ガナイモノデアルト考ヘテ居リマスル點ニ付キマシテ、一二御伺ヲシタイ、ソレハ普通ノ大臣デゴザイマスルナラバ、別ニ御尋ヲセヌカモ知レマセヌガ、現大臣ハ農政ノ權威デアラセラレルカラ、私ハ農村振興ニ付テノ抜本的ノ御意見ガオアリト考ヘテ居ル、假令其ノ御意見ガ現代又ハ近キ將來ニ實現セザルモノデアッテモ、又實現スルコトガ我國ノ現狀ニ於テ非常ニ困難ナモノデアッテモ、一ツ高邁ナ御意見ヲ承ッテ、將來ニ於テ其ノ實現ヲ期シタイト思ツテ居ル、從ツテ假令如何ナル御意見ノ御發表ガアリマシテモ、私ハ之ヲ政策トシテ御實行ノ責任ヲ要望スルモノデハナイノデアリマスノデ、ドウカ其ノ御積リデ御示ヲ願ヒタ伊ト思ヒマス、其ノ抜本的對策、農村振興ニ對スル抜本的對策ト言ヘバ、ソレデ大抵時ニ於キマシテ一番農村デ困ッテ居リマス

問題ハ、農村振興上ニ付キマシテモ非常ニ付キマシテハ、之モ色々ノ原因ガアリマセヌ、ウト思ヒマス、其ノ一つハ農村ノ人口ノ減少スルコト、其ノ減少ハ離村者ノ多いコト、而シテ都市ニ集中スルコト、御承知ノヤウニ農業ニ女子ガ先づ農村ヲ去り、若キ女子デ農村ニ留ル者ハ甚ダ少イ、結婚條件トシテ、農業ヲ爲サヌト云フコトヲ條件トスル者ガ多イノデアリマス、是ハ全ク偽ラザル事實デアル、從ツテ男子モ亦已ムヲ得ズ農村ヲ去ッテ都市又ハ工場、其ノ他俸給生活ニ入ルコトヲ餘儀ナクセラレルノガ多イノデアリマス、其外ニ色々ノ理由ニ依ッテ、不必要ニ都市ニ趨ル者モ多イノデアリマス、此ノ都市集中ノ弊ヲ、勢ヒヲ防遏スルト云フコトガ國家的ニ見マシテモ、軍事的ニ見マシテモ、社會的、衛生的ニ極メテ必要ノコトデアッテ、殊ニ農村ノ振興、農產物生産確保ノ爲ニ、是ガ非常ニ大切ナコトデアラウト思フ、先年モ私ハ之ニ對シテ、農民ガ農村ヲ離レルコトヲ防遏スル爲ニ、何等カ國家權力ヲ以テ之ヲ引留メル方法ハナイモノデアルカト云フコトヲ、豫算總會デアッタト思フノデアリマスガ、

ノ方ニ移ツテ參リマス、之ガ自然食糧ノ増産ノ上ニ於キマシテ重大ナル關係ヲ持ツテ居ル、色々ノ點ニ於キマシテ其ノ弊ガ今顯著ニ相成ツテ居ルノデアル、是ハドウシテモ國土計畫ノ關係モアリマセウ、ソレカラ都市ニ人口ノ集中スル此ノ弊ノ防遏ノコトモアリマセウ、色々關係スル所ガ深イト思ヒマス、是ハ唯困ッタモノ困ッタモノデハイケナルト、非常ニ其ノ感じガ格別ニ深イ、此ノ居リマスガ、東京大阪其ノ他大都市ノ人口ノ溢レ方ト云フモノハ、田舎ヲ見タ眼ヲ以テスガ、大シタ問題ハゴザイマセヌカラ、續ケテ伺ッテ置キマセウ、ソレカラ農村ニ農村人ヲ引留メマス方法トシテ、是ハ衆議院ノ速記錄ノ中ニモチヨット見マシタガ、農林大臣ノ御話ニナツテ居ツタ點デアリマシテ、スル必要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ「ドイツ」ノ農地世襲制度ノ問題デアリマス、是ハ私モ、或程度日本ノ農地ニ付テモ研究考ヘマス、成ル程日本ハ長子相續デ、或點

ハ大體同ジヤウニナツテ居リマスガ、現狀ハ餘程土地ノ所有者、從來ノ所謂中小ノ地主デアツタヤウナ人々ガ、最早農業ト云フシテ、好イ機會ガアレバ土地ヲ手離サウト御検討ニ相成ル必要ガアルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマスルガ、此ノ點ヲ一ツ御云フヤウナ氣分ガ、相當濃厚デアルノデアリマスルガ、此ノ頃出マシタ農地管理令ダケデハ、ソレハ防遏得ナイト私ハ思ウテ居ル、ソレデ斯ウ云フ何カ特殊ナ農地世襲制度ノ如キニ類シタヤウナ特殊法制ヲ、更ニ云フコトヲ考ヘマスルガ、此ノ點ヲ一ツ御说明ヲ願ヒタイト考ヘマス、ソレカラモウ一度ハ農地ノ潰地ノ防遏デアリマス、御承知ノ通りニ農地ノ荒廢ニ歸シマスル原因ハトシテノ利用ヲ止メルト云フコトモ、其ノ用スル爲ニ、又ハ使用スル目的ヲ以テ農地トシテノ利用ヲ止メルト云フコトモ、其ノ色々アリマセウガ、工場其ノ他住宅等ニ使大ナル原因デアリマス、ソレカラ勞力不足ノ爲ニ、之ヲ地目ヲ變換シテ山林ニスルトカ、又ハ其ノ變換ノ手續ヲセズシテ荒廢ニ歸セシメテ居ルトカ云フヤウナ事情ガ多イノデアリマス、マア之ニ付キマシテハ土地管理令ニ依ッテ、此ノ工場等ノ關係ハ多少取締ガ出來ルヤウデアリマスルガ、農地ノ潰地ガ内地ニ於キマシテハ相當ニ多イ、其ノ原因ノ一つシテ近頃、此ノ表ニモアリマスガ、工場等ニ使フ爲ニ農地ヲ買取ラルルト云フヤウナトコトカラシテ、自然農地ガ潰レテ行クト云フコトニナツテ居リマスルガ、本法ノ中ニモ多少ノ、開發會社ガスル仕事ノ關係上、漁業權ノ問題ニ付テ規定ガシテアリマスルガ、開發會社ノ問題バカリデハアリマセヌ、工場ガナカノ

二、沿岸ノ埋立ヲスルト云フヤウナコトガ  
多イノデアリマス、沿岸埋立ハ是ハ國土  
ノ擴張デアッテ、一體獎勵スベキコトデア  
ルト思フ、然ルニ多クノ沿岸ニ持ツテ行ツテ  
皆漁業權ガ附イテ居ル、此ノ漁業權者ノ同  
意ヲ得ナケレバ埋立ノ出願ハ出來ナイ、其  
ノ漁業權者ト云フモノハ、大抵皆大キナ漁  
業權者デナクシテ、遊ビ半分ニ漁業組合ヲ  
作ツテ居ツテ、釣竿一本モ持ツテ居ツテ、日曜  
カ何カニ遊ビニ行ク爲ニ漁業組合ヲ作ツテ  
居ルト云フノガ非常ニ多イ、ソレヲ生業ニ  
シテ居ルノデハナイ、然ルニ其ノ埋立ヲ致  
シマス爲ニハ、漁業組合ノ同意ヲ得ナケレ  
バナラヌ、處ガ其ノ漁業組合ト云フモノハ、  
海面一坪ニ付テ非常ニ高イ賠償ノ要求ヲス  
ルノデアリマス、ソレデ埋立出願ヲ致シマ  
スモノハ、其ノ漁業組合等ト協議ヲスル上  
ニヒドク難儀ヲシテ居ル状態ニ見受ケルノ  
デアリマス、權利金ヲ多大ニ出サナケレバナ  
ラヌ爲ニ、埋立經費ガ非常ニ嵩マルト云フ  
ヤウナコトカラシテ、熟田ヲ買受ケタ方ガ非  
常ニ有利デアル、却テ其ノ方ガ宜イト云フ  
ノデ、皆熟田ニ手ヲ出ス、是ガ潰地ヲ生ズ  
ル大キナ原因ニ近頃ハナツテ居ル、是ハ全體  
デハアリマセヌ、地方ニ依ツテ違ヒマス、是  
等ハ何カ本法ニ、漁業關係ノ分ヲ規定ハシ  
テアリマスガ、アレニ類シタヤウナ規定ハ  
此ノ國土擴張ノ爲ニ、沿岸埋立ノ問題ニ付  
キマシテ、殊ニ軍需工業ノ如キモノニ付キ  
マシテハ、一ツ漁業法ニ關係モアリマス  
ガ、速力ニ研究サルベキモノデハナカラ  
ウカト云フコトヲ考ヘマス、詰リソレハ工  
場地帶等ニ熟田ヲ取ラレルノヲ防グ一ツノ  
方法デ、間接ニ農地開發ノ精神ヲ活カス譯  
ニナルノグラウト思ヒマス、次ニハ私ノ見

ル所ニ農村ニ大切ノモノハ、自作農創設モ  
大切デアリマスガ、近頃ノ事情デハ自作者  
ガ寧ロ小作ノ方ガ宜イ、有利ダト云フコト  
ヲ申シテ居ル、中小地主ト云フモノハ是迄  
非常ニ虐待サレテ居ル、農村ノ地主ト云フ  
モノハ不勞所得ニ依ツテ飯ヲ食ッテ行ク人間  
ダト云ツア、非常ニ虐待サレテ居ル、成ル程  
不在地主ノ方ハ餘リ感心ヲセヌノデアリマ  
スガ、農村ニ居ル從來カラノ中小地主ト云  
フモノハ、是ハ其ノ農村開發ノ上ニ付テ非  
常ニ大切ナ役目ヲ持ツテ居ル、之ガ今ノ農村  
文化及ビ農村ノ中心ニナリ、農村ヲシテ品  
位アルモノニスルノハ此ノ中小地主デア  
ル、此ノ中小地主ト云フモノハ成ル程自分  
デ農業ヲスルノデヤナク、皆小作ニ掛ケル  
ノデアル、土地制度ト云フモノニ付テ、根  
本的ノ改革ヲスルナラバ格別デアツテ、從來  
ノ如キ土地ノ所有權ヲ個人ニ認メルト云フ  
コトニナツテ居ル我ガ國ノ地主制度ト云フ  
モノガ、矢張リ維持サレテ居リマスル上ハ、  
今日ノ農村文化ノ中堅トシテ、又農村知識  
階級ノ中心トシテ、農村指導ノ階級者トシ  
テ、此ノ中小地主ト云フモノハ、農村ニ於  
テハ最モ大切デアルト云フコトヲ私ハ深ク  
感ジテ居ル、ソレガ近頃デハ全ク繼子扱ヒ  
ニナツテ居ツテ、中小地主ト云フモノノ地位  
ハ將ニ潰滅セムトシテ居ル、之ガ農村ノ自  
治問題等ニ付キマシテモ、非常ニ惡イ影響  
ヲ及シテ居ル、ソレデ此ノ中小地主ノ保護  
ト云フコトニ付キマシテ、是ハ從來ノ儘ニ  
シテ置イテ宜シモノデアルカ、相當之ニ  
付テハ考ヘテ行クベキモノデアルト思フ、  
之ニ付テ一ツ御示ヲ願ヒタイト思フノデア  
リマス、ソレカラ最後ニ、要スルニ農村問  
題ニ付キマシテハ、私ハ農村及ビ農人ノ公

的私利ニ於ケル尊敬精神ヲ發揮スルコトデ  
アラウト思フ、詰リ農業精神ヲ興スル爲ニ、農人ヲ尊敬スルト云フ制度、又ハ社會的ノ制度、斯ウ云フモノガ大切デアシテ、是ガ明治維新以後申ス迄モナク資本主義ノ旺盛ナル爲ニ、農人、農村ト云フモノガ閑却サレタノデアラウト思フノデアリマスガ、殊ニ農人ト云フモノガ卑シメラレタ風潮ガ、今日ノ農村衰亡ノ最大原因デアラウト思ジテ居ル、此ノ農村、農人ヲ尊敬スルコト古ノ如クナルナラバ、私ハ暮年ナラズシテ農村ト云フモノハ進歩スル、サウシテ農産物増産ノ目的モ、勞セズシテ成シ得ルト云フコトニ考ヘルノデアリマシテ、ソレニハ農村農人人ノ生活ノ問題、ソレカラ農村文化ノ問題、色々アリマセウガ、此ノ農人ニ精神的ニ農村ヲ尊敬スル、農人ヲ尊敬スルト云フコトガ最モ大切ナヤウニ考ヘテ居ル、何カ新シイサウ云フ方面ノ考ヲ以テ、抜本的ニ農村振興ヲ策スルニ非ズンバ、單ニ末梢的ト申シマスルカ、少シバカリノ問題ガ研究サレマシテモ、根本ニ觸レス問題デハ、大シテ今日ノ現在ノ農村ヲ救フニ足ラヌノデヤナイカト云フコトヲ惧レルノデアリマス、ソレダケ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ法案ニ付キマシテハ私ハサシテ伺フ點モゴザイマセヌガ、後デ政府委員ニ二三伺ヒマスルガ、甚ダボンヤリシタコトヲ申上げテ恐縮デスガ、御抱負ヲ伺ヒタイト思ヒマス

問題ニ付キマシテ、長ニコト農事行政ノ方ニ關係シテ居リマシタ者ニアリマスカラ、常ニ色々考ヘテハ居ルノデアリマスガ、非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、十分ニ斯ウ云フ風ニト云フヤウナ大キナ意見モ持ッテ居ルノデハナイノデアリマス、何時モ心配シテ居リナガラ、ハキリシタ結論ヲ得ラレナイト云フ状態ニ居ルコトハ、甚ダ自分ナガラ遺憾ニ思ッテ居リマス、從ツテ御答ヘ申上ゲルコトモ、到底御満足ヲ戴ク譯ニハ行カヌト思ヒマス、第一ノ問題ノ農民ノ都市集中ノ勢ヒヲ防グト云フコトノ、何等カ國家権力ヲ以テスルト云フヤウナコトヲシナケレバ、到底之ヲ防ゲヌノデヤナイカ、從ツテ之ガ農村ヲ振興スルト云フコトノ、大キナ障リニナツテ居ルノチヤナイカト云フ點ノ御尋ノヤウニ思ヒマス、誠ニ私モ同感デゴザイマス、只今農村ガ御示ノヤウナ状態ニナツテ居リマスルコトヲ防ギマスルノニハ、經濟上バカリデハナク、色々ノ方法ヲ講ジナクチヤナラナイノデ、後ニ御示ニナリマシタヤウニ、色々ノ方面ニ付テ考ヘナケレバナラヌ、併シ都市集中防遏ト云フダケラ考ヘマシテモ、國家的ニ色々ナ施策ヲ講ジナケレバ、自然ノ儘地放任シテ置キマスト、今ノヤウナコトデ何處迄モ離村ノ情勢、都巿集中ノ情勢ト云フモノハ續イテ行クノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、ソレニ對シマシテ國トシテドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、御指摘中ニアリマシタ國土計畫ト云フモノデ考ヘテ行クコトガ、極メテ必要ダト思フノデアリマス、只今迄都市計畫十分ニ備ヘ得ルヤウニ、我ガ國現在ノ都市

アラウト思フ、詰リ農業精神ヲ興スルコトニ  
ニ、農人ヲ尊敬スルト云フ制度、又ハ社會  
的ノ制度、斯ウ云フモノガ大切デアッテ、是  
ガ明治維新以後申ス迄モナク資本主義ノ旺  
盛ナル爲ニ、農人、農村ト云フモノガ閑却  
サレタノデアラウト思フノデアリマスガ、  
殊ニ農人ト云フモノガ卑シメラレタ風潮  
ガ、今日ノ農村衰亡ノ最大原因デアラウト  
思ッテ居ル、此ノ農村、農人ヲ尊敬スルコ  
ト古ノ如クナルナラバ、私ハ暮年ナラズシ  
テ農村ト云フモノハ進歩スル、サウシテ農  
產物増産ノ目的モ、勞セズシテ成シ得ルト  
云フコトニ考ヘルノデアリマシテ、ソレニ  
ハ農村農人ノ生活ノ問題、ソレカラ農村文  
化ノ問題、色々アリマセウガ、此ノ農人ニ  
對シテノ經濟上ノ問題バカリヂヤナイ、  
精神的ニ農村ヲ尊敬スル、農人ヲ尊敬ス  
ルト云フコトガ最モ大切ナヤウニ考ヘ  
テ居ル、何カ新シイサウ云フ方面ノ考ヲ  
以テ、抜本的ニ農村振興ヲ策スルニ非ズ  
ンバ、單ニ末梢的ト申シマスルカ、少シバ  
カリノ問題ガ研究サレマシテモ、根本ニ觸  
レヌ問題デハ、大シテ今日ノ現在ノ農村ヲ  
救フニ足ラヌノデヤナイカト云フコトヲ惧  
レルノデアリマス、ソレダケ一つ伺ヒタイ  
ト思ヒマス、ソレカラ此ノ法案ニ付キマシ  
テハ私ハサシテ伺フ點モゴザイマセスガ、  
後デ政府委員ニ二三伺ヒマスルガ、甚ダボ  
ンヤリシタコトヲ申上げテ恐縮デスガ、御  
抱負ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ニ關係シテ居リマシタ者デアリマスカラ、常ニ色々考ヘテハ居ルノデアリマスガ、非常ニムヅカシイ問題デアリマシテ、十分ニ斯ウ云フ風ニト云フヤウナ大キナ意見モ持ッテ居ルノデハナイノデアリマス、何時モ心配シテ居リナガラ、ハッキリシタ結論ヲ得ラレナイト云フ状態ニ居ルコトハ甚ダ自分ナガラ遺憾ニ思ツテ居リマス、従ツテ御答ヘ申上ゲルコトモ、到底御満足ヲ戴ク譯ニハ行カスト思ヒマス、第一ノ問題ノ農民ノ都市レバ、到底之ヲ防ゲヌノデヤナイカ、従ツテ集中ノ勢ヒヲ防グト云フコトノ、大キナ權力ヲ以テスルト云フヤウナコトヲシナケザイマス、只今農村ガ御示ノヤウナ状態ニ障リニナツテ居ルノデヤナイカト云フ點ノ御尋ノヤウニ思ヒマス、誠ニ私モ同感デゴザイマス、併シ都市集中防遏ト云フダケヲナクチヤナラナイノデ、後ニ御示ニナリマシタヤウニ、色々ノ方面ニ付テ考ヘナケレバナラス、併シ都市集中防遏ト云フダケヲ考ヘマシテモ、國家的ニ色々ナ策シテ講ジナケレバ、自然ノ儘デ放任シテ置キマスト、シマシテ國トシテドウ云フ風ニスルカト云市集中ノ情勢ト云フモノハ續イテ行クノヂナケイカト考ヘルノデアリマス、ソレニ對今ノヤウナコトデ何處迄モ離村ノ情勢ト云フコトハ、御指摘中ニアリマシタ國土計画ト云フモノデ考ヘテ行クコトガ、極メテ必要ダト思フノデアリマス、只今迄都市計畫

ヲ改善シテ行ク計畫ヲ立テルト云フコトガ、主ナヤウデアッタノデアリマス、其ノ觀點力ラーツ上ニ突キ抜ケマシテ、サウシテ國トシテ國土ヲドウ云フ風ニ、國土保安及ビ利用ノ上ニ於テドウ云フ風ニシテ行クノガ宣イカト云フ、各方面ニ瓦ル計畫、同時ニ人口ノ配分ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、都市農村ノ關係ヲ國家的見地カラ見テ、色々計畫ヲ立テルト云フコトガ、國土計畫ニ付テ大事ナコトダラウト思フノデアリマス、而シテソレ等ノ物及ビ人ノ間ノ連絡ヲ付ケマスル交通ノ問題ヲ考ヘル、他面一國トシテノ廣イ意味ノ國防ノ關係上、ソレヲドウ云フ風ニヤツテ行シタラ宜イカト云フコトヲ更ニ附加ヘテ、心ヲ込メマシテ案ヲ完備スルト云フコトニ至ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フ國家的見地カラ致シマシテ、都市、農村ト云フモノヲ考ヘルト云フ所ニ一步進メマスル必要ガ今生ジテ來テ居ルコトハ、一面都市集中ト云フコトガ、殊ニ我が國ニ於テハ無統制ニ、度ヲ過ギテ自然ノ儘ニ放置サレテ居ルコトダント思ヒマス、是ハ都市自體ノシックリシタ本當ノ發達ニハナラナイノデハナイカ、都市自體ノ方カラ問題ヲ起シテモ、宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘラレテ參ッタノデアリマス、殊ニ國防關係カラ致シマシテモ、最近ノ防空ノ事情ナドカラ考ヘマシテ、今迄ノ我ガ國ノ都市ト云フモノガ餘程引締シテ「ソトヲ考ヘナケレババイケナイト」云フ風ニナツリッド」ナモノニナラナケレバナラヌヤウナ必要ガ生ジテ參ッタノデアリマス、サウ云フコトヲ考ヘナケレババイケナイト云フ風ニナツリヤ、工場ノ問題ト聯關致シマシテ、國內人口配分ヲモウ少し偏倚的デナク、地方分散

的ニヤツテ行クト云フコトニナツテ行クト思フ  
ノデアリマス、其ノ際ニ現レマスコトハ、  
地方ニ都會ト工場トガ分散ヲサレルト云フ  
コトニナラウト思フ、是ハ地方ノ都會、又  
ハ地方ノ工業ノ地方的中心ニ農村人口ガ集  
離村ノ現象ハ出ルノデアリマス、ソレニ致  
シマシテ餘程、數ノ少イ大都會ニ無統制ニ  
吸込マレルノトハ餘程事情ガ違ツテ來テ、健  
全ニナルノデハナカラウカト考ヘテ居リマ  
ス、併シソレニ致シマシテモ、例ヘバ地方  
工業分散ト云フヤリ方ニ付キマシテモ、餘  
程工場ガ分散ヲシテ、其ノ爲ニ地方ノ農村  
ノ氣分ガ非常ニ搔キ亂サレルコトノナイヤ  
ウニ、ソレニ寧ロ工場ノ分散デナクシテ、  
工業ノ分散ト云フ形デ行クヤウニアリタイ  
ト云フ風ナ、マア色々細カイ註文ハ附イテ  
來ルコト思ヒマスガ、餘程サウ云フ點ニ  
關シマシテ、從來ノ有リノ儘ノ都會ノ無統  
制ノ膨脹ト云フモノニ委シテ居タ時ヨリ  
モ、餘程良クナルコトト思ヒマス、又サウ  
云フ風ニスルト云フコトニ國家權力ヲ用ヒ  
テ行カナケレバナラスト思フ、廣イ意味ノ  
國防上ノ關係カラ致シマシテモ、サウ云フ  
コトヲスルコトハ極メテ必要ナ、緊要ナコ  
トニ只今ナツテ來テ居ルヤウニ思ヒマスカ  
ラ、是ハ從來ト變リマシテ、或程度國ノ權  
力ヲ以テ實現サルベキコト考ヘテ居ルノ  
デアリマス、其ノ外ニ於キマシテ國ガ積極  
的ニ都市集中ヲ防止シ、農村人口ノ引留ト  
シテヤル方法ト致シマシテハ、次ニ御指摘  
題デヤナイカト仰セニナツタノデアリマス

アリマス、世襲農場ノ問題ニ付テ少シ話ス  
ヤウニト云フコトデアリマスガ、是ハ御承  
知ノ通りニ、二十數年前ニ我ガ國デモ一  
遍問題ニナツタコトデゴザイマシテ、此ノ當  
時ニハ所謂家產法設定ト云フ名目デ、斯ウ  
云フコトガ問題ニナツタコトガアル、其ノ當  
時外國ニ於キマシテモ、新シイ立法ヲ見タノデ  
マシテ色々考究サレタノデアリマス、「スイ  
ス」デアリマストカ、「フランス」デアリマ  
ストカ云フ所デハ、新シイ立法ヲ見タノデ  
アリマス、是ヨリ前ニ「アメリカ」デモ行ハ  
レタ州ガアルノデアリマス、「スラヴ」ノ民  
族ノ中ニモ、非常ニ古クカラ此ノ制度ガ特  
殊ノ發達ヲシテ居タ所ガアルト云フコト  
モ聞イテ居リマス、唯其ノ當時行ハレマシ  
ト、ソレカラモウ一ツニハ農民ガ土地ヲ持  
ツト云フコトノ大半ノ實益ハ、ソレヲ元ト  
續制度ガ多子均分ノ相續デアル所ガ多イノ  
致シマシテ、金融ノ便宜ガ得ラレルト云フ  
ヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、而モ  
家產制度ニ依ツテ金融ノ便ヲ得ル爲ニ普通  
行フ抵當ニ入レルト云フコトハ、是ハ禁止  
サレテ居リマス、家產ヲ永久ニ持チ傳ヘル  
ガ得ラレナイ、成ル程長ク持チ傳ヘルト云  
爲ニサウ云フコトハ禁止ヲシテ、不融通ニ  
ナツテ居ルト云フコトニナル爲ニ、ソレデハ  
土地ノ所有ヲシテモ、實際ノ實益ト云モノノ  
ト云フヤウナコトカラ、餘り行ハレナカッタ  
ト云フコトニハシテ居ルケレドモ、經營運用ノ  
上ニ於テ普通考ヘテ居ルヤウナ實益ガナイ  
ドウモ其ノ時カラ我ガ國ノ事情ヲ考ヘルト  
云フト、一子相續、長子相續ヲ全國ニ行ッテ

居ツタ、極メテ僅カナ地方ニ末子相續ノ特  
殊ノ慣行ガアルヤウデアリマスガ、ソレニ  
シテモ一子相續、「ヨーロッパ」アタリハ全ク  
サウ云フコトノナイ方ガ多イ、均分相續方  
通常デアリマス、一子相續ハ「ドイツ」アタリ  
デハ「ライン」州、「ライン・プロヴァИНС」ア  
タリガアリマスケレドモ、其ノ以外ノ所ニ  
ハナイト云フコトデアリマスガ、此ノ邊ノ  
事情アタリカラ考ヘマスト、非常ニ第一ノ  
障碍ガナイヤウ思ヒマス、日本ノ農民トシ  
テハ、先祖カラノ土地ト云フモノヲ、チャ  
ント傳ヘテ行クコトガ誠ニ望マシイ状態デ  
アルノデアリマスガ、極ク合ツテ居ルヤウニ  
思フ、併シ第二點ノ土地ノ所有ト云フコト  
ニ付テモ、實益……之ヲ金ノ必要ナ時ニカ  
タニ入レテ、融通ヲ付ケテ貰フト云フコト  
ヲ禁止スルト云フコトニナリマスト、是ハ  
非常ニ困ルト云フコトニナリマスコトハ、  
同ジヤウナ實情ガアルノデヤナイカト思ヒ  
マス、土地ノ永代賣買ノ禁止ト云ツタヤウ  
ナコトハ、實際ハ兎モ角ト致シマシテ、或  
程度法制上強行サレテ居ルノデアツテ、併シ  
之ヲカタニ入レテ金融ヲヤルト云フコトガ、  
其ノ半面ニ於テ相當ニ行ハレテ從來モ來テ  
居ツタ、ソレノ特殊ノ禁止ノ時代ニモ行ハレ  
テ來テ居ツタノデアリマス、ソレガイケナイ  
ト云フコトニナルト、土地ノ所有ノ實益ヲ  
得ラレナクナツテ、目的ノ大半ヲ失スルト云  
フコトニナルト云フ缺點ハ、ドウシテモ是  
ハ我ガ國ニモ受ケナケレバナラヌコトダト  
思フノデアリマス、其ノ點ガ何カ特別ナ家  
産ニ致シ、或ハ家産ト申シマスカ、新シイ  
言葉デハ世襲農場ト譯シテ居リマスガ、最  
近ノ考デ言ヘバ世襲農場ニ致シテ特別ノ、  
外ノ物ト違フ金融施設、機構ヲ考ヘテヤル

ニ非ズンバ、此ノ點ハ救濟が出來ナイ、ソレ  
云フ問題ガ、此ノ制度ヲ採入レルノニ付キ  
マシテハ、ドウシテモ解決シナケレバナラ  
ス問題ト思フノデアリマス、ソレガ出來マ  
スレバ、是ハ非常ニ我ガ國ノナニニハ合ビ  
マシタ制度ダト思フノデアリマス、殊ニ長  
年ノ關係デ、マダ沿革的ニ日本デハ土地ノ  
所有ト云フコトガ、社會的ニ非常ニ重キヲ  
成シテ居ル觀念ガアルノデアリマス、金融  
ノ問題サヘ解決ガ附ケバ、誠ニ適シタ施設  
デヤナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリ  
マス、而シテ若シソレガ擧ゲラレテ實現ヲ  
スルト云フ場合ニ於キマシテハ、私一個ノ  
考ト致シマシテハ、其ノ家產ト申シマスカ、  
世襲農場ト申シマスカ、其ノモノノ經營ハ、  
必ズ家族ヲ中心トンタ自作農業ヲヤルト云  
フコトガ、必要條件デナクチヤナラスト云  
フ風ニ思フノデアリマス、此ノ點ガ後ニ第  
四點トシテ御述ニナリマシタ在村ノ中小地  
主ト云フモノガ自ラ農業ハ營マナイケレド云  
モ、農村ノ指導者トシテ從來ハ大切デアッタ  
シ、現在モ亦或程度ノ地位ヲ保ツテ居リ、非  
常ニ必要ナル役割ヲ演ジテ居ルト思フト云  
フ御尋ガアリマシテ、之ノ保護ト云フコト  
ノ必要ハナイカト云フ御尋ガアリマシタ點  
ニ多少觸レルト思ヒマスガ、私ハ是ハ耕作  
ヲシナイト云フ結論ガ出タラバ、實施ヲス  
アリマス、サウ云フ主義ノ下ニ、新シクス  
ルト云フコトガ都市集中ノ勢ヒヲ相當ニ防  
グ積極政策トシテ考ヘラレルモノダト思ヒ  
マスル點ハ、全ク内田サンノ御意見ト同意  
見デアリマス、其ノ外離村ノ防止ト云フコ

ト云フコトヲ世間デモヤッテヤリ、ソレト  
同時ニ農村民自體ガソレヲ左様ニ信ジルヤ  
ウナ氣持ニ引向ケテ行ク必要ガ非常ニアル  
ト思フ、或意味ニ於キマシテ農民精神ト云  
モノヲハキリサセルコトダト思フノデ  
アリマス、サウシテ都會地ノ娛樂ト云フヤ  
ウナモノヲ農村ニ送ッテヤッテ引著ケテ  
モ、ナカヽ多クノモノハソグハナイモノガ  
多イト思フ、或ハ寧ロ都會ニ走ル因ヲ成ス  
ヤウナ效果ニ働クヤウナコトサヘモアルノ  
デヤナイカト私ハ考ヘマス、ソレデ農業自  
體ニ付テノ特殊ナ點、都會生活者ガ味ヘナ  
イヤウナ特殊ノ點ガ斯ウ云フ所ニアルノダ  
ト云フコトヲ強ク認識サセテ、ソレヲ樂シ  
ミ満足ヲスルト云フ氣持ヲ持ツ人間ガ、農  
村ニ残ツテ居ルト云フコトガ必要ナンデヤ  
ナイカト思フノデアリマス、其ノ方ニ於ケ  
キマシテ、色々毎日從事シテ居ル農山村ノ  
仕事ニ付テノ興味及ビ自然觀察ト云ッタヤ  
ウナコトニ目ヲ覺マサセテ、自己ノ生産物ニ依  
ル興味ヲ持タセル、或ハ自分ノ作ッタ物ヲ  
自分デ以テ段々良ク致シテ參ッテ、金ニ依ル  
生活ノ向上デナクシテ、自己ノ生産物ニ依  
ル生活ノ改善向上ト云フコトヲ圖ラセルヤ  
ウニスルコトモ宜ノデハナカラウカト云  
フ風ニ思ヒマス、「ドドイツ」ノ農民ヤ又農業  
經濟ノ指導ノ學者ナドモ、自己ノ農場カラ  
穫レル物ニ依ル自給自足、進ンデハ生活ノ  
ガ何モナシニ入ツタ人アタリデ、本當ノ篤  
農ト見ラレルヤウナ人ハ相當農場モ擴張シ  
シテ居ルヤウデアリマスルシ、強調シテ居  
ルヤウデアリマス、北海道アタリノ開拓者  
テ行クト同時ニ、自己ノ生活モ開墾地ノ山

メテ行シテ居ルヤウナ實例ガ多々アルノデ  
アリマス、サウ云フ人ハ非常ニ落著イテ居  
テ居ル、老人ナドニサウ云フ人ヲ能ク見掛  
ケルノデアリマス、サウ云フ氣持ヲ多クノ  
人ニ持タセルヤウニ仕向ケテ行クト云フコ  
トガ、非常ニ必要デヤナイカト考ヘマス、  
國ノ方カラノ働キ掛けト致シマシテハ、之  
ヲドウ云フ風ニ現ハシテ宜イカチヨット分  
リマセヌガ、農民自體ヲシテサウ云フ風ニ  
目覺メサセルヤウニシテ行クト云フコトガ  
必要デヤナイカト考ヘテ居リマス、ソレカ  
ラ第三點ノ潰地、荒廢地ノ件デアリマスガ、  
是ハ段々御手許ニ配リマシタ表デ御覽戴ク  
ヤウニ、相當ニアルノデアリマス、サウ云  
フ事情ニ對シマシテ、是ハドウシテモ復舊  
シナクチヤナラヌノデ、近年之ヲ開墾助成  
ノ中ニ採入レマシテ、サウ云フヤウナ所ヲ  
復舊スル爲、開墾助成ニ依ッテヤルト云フコ  
トニ致シマシテ、十五年度ニ於キマシテハ  
約一萬九千町歩、サウ云フ潰地、荒廢地ト  
云ツタヤウナモノヲ再ビ農地ニ取返シマシ  
タ、十六年度ニ於キマシテハ只今ノ豫定デ  
ハ七千五百町歩程サウ云フモノヲ開墾助成  
ニ依ッテ復舊ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居  
ルノデアリマス、マアソレト最近出マシタ  
臨時農地等ノ管理令ニ依リマシテ出來ルダ  
ニ依ッテ復舊ヲ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居  
ルノデアリマス、マアソレト最近出マシタ  
工場ガ敷地ヲ埋立地ニ求メルト云フヤウナ  
場合ニモ、不當ナ要求ヲ漁業權、殊ニ遊漁  
ノ事業ノ爲ニ漁業權ノコトナドモ書イニア  
ルノデアリマスガ、是ハ御指摘ノヤウニ、  
樂シミノ爲ノ漁業ト云ツタヤウナモノガ漁

業組合ノ形ヲ取ツテ要求ヲスルト云ツタヤウナコトハ、出來ルダケナイヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ御承知ノ通りニ、沿岸漁業ハズット到ル處ニ從來行ハレテ居ツタノデアリマスガ、最近漁獲ガ少クナツタト云フヤウナコトカラ、段々漁業専門ノ生業ヲヤツテ行ク譯ニ行カナインオデ、外ノコトヲヤリナガラ漁業ヲヤツテ行クト云フ片手間ニナツテシマツタヤウナ事實ガ沿革的ニ出來タヤウナ所ニ於キマシテハ、尙相當漁業ノ收入ト云フモノガ家ノ收入ノ半分ノ手助ケヲシテ居ルヤウナ所ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ所ハ或程度ノ漁業權ノ賠償ハシテヤラケレバナラヌト思フノデアリマス、併シソレ等ノ爲ニ國土擴張ノ大キナ目的ガ著シク禍ヒサレルヤウナコトハナイヤウニ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、ソレガ又一面水田ノ潰地ニナルノ防グト云フコトニハ相成ラウカト思フノデアリマス、開墾ノ方デ之ヲヤリマシタ最近ノ大キナ例ハ、巨椋池ノ國營開墾ノ際ニ、アノ巨椋池ノ中ニハ漁業ヲヤツテ居リマシタ人達ガ相當ニアルノデアリマス、シレ等ハ話合ヲ十分ニ付ケマシテ、サウシテ巨椋池ノ開墾ヲヤツテ、水田ヲ作りマシタモノヲ漁業權者ニ或話合ノ下ニ分與スルト云フヤウナコトデ、半農半漁デアリマシタモノガ、池ノ漁場ガナクナルト同時ニ、純然タル農業者タト云フヤウナ割合ニ能ク解決ヲシテ居リマス、埋立ノ場合ニ對シマシテ、サウ云ノ收穫ヲ得ラレル土地ヲ其處ニ獲得ガ出来タト云フヤウナ割合ニ能ク解決ヲシテ居リマス、埋立ノ場合ニ對シマシテ、サウ云

コトヂヤカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ先程、チヨット關係ガアルノデ……、自作農創定ト云フモノモ宜シイガ、今日ハ小作農ガ有利ダト言フヤウナ者ガアル、サウ云フ時代ニナッテ來テ居ルシ、不在地主ト云フモノハ是ハ宜クナイト思フケレドモ、在村ノ中地主ト云フモノハ大事ナモノダト云フ御指摘デゴザイマス、私モ從來ノ農村事情カラ見マシテ、在村地主ト云フモノハ、大キイ地主モ亦中位ノ地主モ相當ニ從來ハ農村ノ文化ノ中心デアリ、又指導者地位ヲ以テ、色々村ノ自治ノ世話ヲヤッテ居ルト云フ貢獻ハ、是ハ認ヌナケレバナラスト思ヒマス、而モソレ等ノ人々ガ儒教ノ教育ヲ受ケテ誠ニ高イ教養ヲ持ッタ農村人トシテハ是等ノ階級ノ人々ガ確カニ文化ノ中心ヲ成シテ居ルカト思フ、唯段々ト時代ガ變ツテ參リマシテ、中小ノ地主ト云フモノハ、ドウモ今ノ農業經濟ノ上カト、從來ノヤウニ之ヲ以テ農村ニ於ケル比較的高イ教養ヲ受ケルヤウナ子弟ノ教育モヤッテ生活モ高い程度ノ生活ヲ營ンデ行クト云フコトハ、非常ニ困難ニナッテ來テ居ルヤウニ思フ、ソレヲドウ云フ風ニシテ維持シテヤルカト云フ問題ハ、是ハナカノムツカシイ問題デアリマシテ、時代ガ非常ニ變ツテ來テ居ルヤウニ思フ、而シテ農作ノ關係ニ於キマシテ之ヲドウスルカ、或ハ國家ノ機關關トシテ農業ノ指導ノ専任者トシテ之ヲ認メルカト云フト、ドウモ今ノ國ノ組織デハサウ云フ譯ニハ行カナイ、或程度村々ノ農業指導員ト云フモノヲ、其ノ村ニ於ケル農業教育ヲ受ケタ人ヲ、其ノ在所ノ指導員ニスルト云フコトガ宜イノデアリマス、併シ是モナカノ年齢ノ工合ダノ家柄ノ工合ヅウ

マク行カナイ場合ガ多々アルノデアリマス、總テヲサウ云フヤウニシテシマフト云フ譯ニ行カナイ、假ニサウシマシテモ、一人ノ人ガソレデサウ云フ風ニ變ツテ參ルノダト云フ御指摘デゴザイマス、私モ從來ノ農村事情カラ見マシテ、在村地主ト云フモノハ、大キイ地主モ亦中位ノ地主モ相當ニ從來ハ農村ノ文化ノ中心デアリ、又指導者地位ヲ以テ、色々村ノ自治ノ世話ヲヤッテ居ルト云フ貢獻ハ、是ハ認ヌナケレバナラスト思ヒマス、而モソレ等ノ人々ガ儒教ノ教育ヲ受ケテ誠ニ高イ教養ヲ持ッタ農村人トシテハ是等ノ階級ノ人々ガ確カニ文化ノ中心ヲ成シテ居ルカト思フ、唯段々ト時代ガ變ツテ參リマシテ、中小ノ地主ト云フモノハ、ドウモ今ノ農業經濟ノ上カト、從來ノヤウニ之ヲ以テ農村ニ於ケル比較的高イ教養ヲ受ケルヤウナ子弟ノ教育モヤッテ生活モ高い程度ノ生活ヲ營ンデ行クト云フコトハ、非常ニ困難ニナッテ來テ居ルヤウニ思フ、ソレヲドウ云フ風ニシテ維持シテヤルカト云フ問題ハ、是ハナカノムツカシイ問題デアリマシテ、時代ガ非常ニ變ツテ來テ居ルヤウニ思フ、而シテ農作ノ關係ニ於キマシテ之ヲドウスルカ、或ハ國家ノ機關關トシテ農業ノ指導ノ専任者トシテ之ヲ認メルカト云フト、ドウモ今ノ國ノ組織デハサウ云フ譯ニハ行カナイ、或程度村々ノ農業指導員ト云フモノヲ、其ノ村ニ於ケル農業教育ヲ受ケタ人ヲ、其ノ在所ノ指導員ニスルト云フコトガ宜イノデアリマス、併シ是モナカノ年齢ノ工合ダノ家柄ノ工合ヅウ

マク行カナイ場合ガ多々アルノデアリマス、總テヲサウ云フヤウニシテシマフト云フ譯ニ行カナイ、假ニサウシマシテモ、一人ノ人ガソレデサウ云フ風ニ變ツテ參ルノダト云フ御指摘デゴザイマス、私モ從來ノ農村事情カラ見マシテ、在村地主ト云フモノハ、大キイ地主モ亦中位ノ地主モ相當ニ從來ハ農村ノ文化ノ中心デアリ、又指導者地位ヲ以テ、色々村ノ自治ノ世話ヲヤッテ居ルト云フ貢獻ハ、是ハ認ヌナケレバナラスト思ヒマス、而モソレ等ノ人々ガ儒教ノ教育ヲ受ケテ誠ニ高イ教養ヲ持ッタ農村人トシテハ是等ノ階級ノ人々ガ確カニ文化ノ中心ヲ成シテ居ルカト思フ、唯段々ト時代ガ變ツテ參リマシテ、中小ノ地主ト云フモノハ、ドウモ今ノ農業經濟ノ上カト、從來ノヤウニ之ヲ以テ農村ニ於ケル比較的高イ教養ヲ受ケルヤウナ子弟ノ教育モヤッテ生活モ高い程度ノ生活ヲ營ンデ行クト云フコトハ、非常ニ困難ニナッテ來テ居ルヤウニ思フ、ソレヲドウ云フ風ニシテ維持シテヤルカト云フ問題ハ、是ハナカノムツカシイ問題デアリマシテ、時代ガ非常ニ變ツテ來テ居ルヤウニ思フ、而シテ農作ノ關係ニ於キマシテ之ヲドウスルカ、或ハ國家ノ機關關トシテ農業ノ指導ノ専任者トシテ之ヲ認メルカト云フト、ドウモ今ノ國ノ組織デハサウ云フ譯ニハ行カナイ、或程度村々ノ農業指導員ト云フモノヲ、其ノ村ニ於ケル農業教育ヲ受ケタ人ヲ、其ノ在所ノ指導員ニスルト云フコトガ宜イノデアリマス、併シ是モナカノ年齢ノ工合ダノ家柄ノ工合ヅウ

マク行カナイ場合ガ多々アルノデアリマス、總テヲサウ云フヤウニシテシマフト云フ譯ニ行カナイ、假ニサウシマシテモ、一人ノ人ガソレデサウ云フ風ニ變ツテ參ルノダト云フ御指摘デゴザイマス、私モ從來ノ農村事情カラ見マシテ、在村地主ト云フモノハ、大キイ地主モ亦中位ノ地主モ相當ニ從來ハ農村ノ文化ノ中心デアリ、又指導者地位ヲ以テ、色々村ノ自治ノ世話ヲヤッテ居ルト云フ貢獻ハ、是ハ認ヌナケレバナラスト思ヒマス、而モソレ等ノ人々ガ儒教ノ教育ヲ受ケテ誠ニ高イ教養ヲ持ッタ農村人トシテハ是等ノ階級ノ人々ガ確カニ文化ノ中心ヲ成シテ居ルカト思フ、唯段々ト時代ガ變ツテ參リマシテ、中小ノ地主ト云フモノハ、ドウモ今ノ農業經濟ノ上カト、從來ノヤウニ之ヲ以テ農村ニ於ケル比較的高イ教養ヲ受ケルヤウナ子弟ノ教育モヤッテ生活モ高い程度ノ生活ヲ營ンデ行クト云フコトハ、非常ニ困難ニナッテ來テ居ルヤウニ思フ、ソレヲドウ云フ風ニシテ維持シテヤルカト云フ問題ハ、是ハナカノムツカシイ問題デアリマシテ、時代ガ非常ニ變ツテ來テ居ルヤウニ思フ、而シテ農作ノ關係ニ於キマシテ之ヲドウスルカ、或ハ國家ノ機關關トシテ農業ノ指導ノ専任者トシテ之ヲ認メルカト云フト、ドウモ今ノ國ノ組織デハサウ云フ譯ニハ行カナイ、或程度村々ノ農業指導員ト云フモノヲ、其ノ村ニ於ケル農業教育ヲ受ケタ人ヲ、其ノ在所ノ指導員ニスルト云フコトガ宜イノデアリマス、併シ是モナカノ年齢ノ工合ダノ家柄ノ工合ヅウ

ラヌ時機ニ逢著シテ居ルト思ヒマスノデ、幸ニサウ云フ點ニ御氣付ニナツテ御指摘戴キマシタノデアリマスカラ、將來ト致シマシテハゾレヲ云フコトヲ十分注意ヲ致シマシテ行クカト云フコトヲ十分注意ヲ致シマシテ、目的ヲ達成スルヤウニ努メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○内田重成君 只今私ノ伺ヒマシタボンヤリシタ問題ニ對シマシテ、極メテ周到ナル御高見ヲ承リマシテ有難ウゴザイマス、謹シマシテ再ビ伺ハウトハ考ヘマセヌ、唯一點本案ニ關係ノアル問題デアリマスガ、是ハ大臣ノ御答辯ヲ伺ハナクトモ宜シイノデゴザイマスルガ、序ニドナタカ政府委員カラ御答へ下サツテモ宜シウゴザイマス、此ノ潰レ地ノ開墾ガ……

○委員長(伯爵黒木三次君) チヨット御言葉中甚ダ失禮デゴザイマスガ、大臣ハ少シ御急ギノヤウデアリマスカラ、他ニモ大臣潰レ地ノ開墾ガ……

○内田重成君 是ハ大臣デナクテモ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ御話置キ下サイマシテ、答辯ハ後ニ廻シテ宜シウゴザイマスカ

○松村眞一郎君 私ハ大臣ノ居ル所デ伺ッテ置カナケレバ……

○委員長(伯爵黒木三次君) チヨット御待チ下サイ、ソレデハ順序ガ大分狂ヒマスカラ、デハ内田君御發言下サイ

○内田重成君 私ハ極ク簡単デス

○委員長(伯爵黒木三次君) 御答辯ハ後カラ致スト云フコトニ……

○内田重成君 只今農地潰レ地開發ガ最モ

重要ナモノデゴザイマスガ、農地開發……此ノ營團ノ開發スル土地ハ五十町歩以上ト云フコトニナツテ居ル、五十町歩以下ハ普通開墾助成法等ヲ適用シテヤルト云フコトデアリマス、實際地方ヲズット見テ歩キマスト、箇々ノ潰レ地ガ非常ニ多イ、其ノ潰レ地ガ二三年續キマスト、遂ニハ皆ガソレヲ植林ヲスル、桐ヲ植エルトカ、櫟ヲ植エルトカ云フヤウナコトヲシテ居ルヤウデアリマス、ソレ等ガ集團的ノモノデハナイ、從ツテアレ等ヲ皆原ニ復舊スルト云フコトガ極ク重要な問題ダラウト思フ、之ニ對シマシテ開墾助成法ノ適用ヲナシ得ベキ場合デモ四割ノ補助ト云フコトニナル、此ノ開發營團ノナスニハ六割ト云フコトデアル、ソコニ今二割違ヒマスガ、現在ニ於キマシテハ色々ナモノガ高イノデアリマス、勞力モ物資モ皆高イノデ、復舊工事ニモ相當費用ガ掛ルナデアリマスガ、此ノ潰レ地回復ガ非常ニ重要フノデアリマスガ、誠ニ私ハ土地ガ惜シイト思ツテ之ヲ見ルノデアリマシテ、是ハ矢張ル開發營團ニ渡サレマスル六割ノ補助金ト同様ナ風ニ、此ノ開墾助成法ノ規定モ、是ハ此ノ際一ツ變ヘルト云フ譯ニハ參ラヌモノデアリマスカ、ソレハ成ル程此ノ開發營團ノナス開墾ト、ソレカラ潰レ地復舊トハ難易ノ差ハアリマスケレドモ、是ハ割合デ參リマス、經費ノ割合デ參リマスカラ、難易ノ問題ニハサウ影響ハナインデハナイカト云フ考ヲ持ツノデアリマス、其ノ點ヲ一つ、ソレカラモウ一黠へはモウ明瞭カモ知レマセヌガ、チヨツトスル問題デアリマスカ、又ハ外地、即チ

朝鮮、臺灣等ニモ適用サレマスカ、又進ンデ満洲ニモ是ハ其ノ活動區域ハ及ブモノデアリマスカ、其ノ點ヲ私一ツ不明デアリマスガ、御説明ヲ願ヒタイ、是ダケ私質問致シマス

○委員長(伯爵黒木三次君) チヨット速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ始メテ下サイ、暫時休憩致シマシテ、午後一時半ヨリ又再開致シマス

午前十一時三十九分休憩

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ午前ニ引續イテ開會致シマス

○男爵岩村一木君 此ノ第六十八條ニ「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウ云フコトガアリマスガ、此ノ勅令ノコトハ書イテアリマセヌシ、ソレカラ又或規定々々依テ施行ノ期日ガ違フト思ヒマスガ、若シカ此ノ農地開發法ガ成立致シマシタナラバ、政府トシテハ何條ト何條ハ大體何年何月頃實施スルト云フ御考デアルカ、其ノコトヲ伺ヒイタト思ヒマス

○政府委員(岸良一君) 只今御尋ノ施行ノ期日デゴザイマスルガ、是ハ當初ニ於キマシテハ議會ノ方モ三月末日迄アル、サウ云フコトヲ豫想致シマシタノデ、從來ヤシテ居リマスカ、ソレカラ休會ニナリマスレバ、準備モ早クトヨリ、延バシタイト斯ウ云フ風ニヤシテ參リタイ

○男爵岩村一木君 サウ致シマスト、是ハノ關係ハ準備ヲ整ヘル必要ガアルノデ、期日ノ割合ニ依テモ仕事ヲ相當進メテ居ルノデゴザ件ガ比較的良イカラ、サウ云フヤウナ譯デ率ヲ變ヘテ居ル譯デアリマス、又從來ノモアルデアラウ、サウシテ勞力ノ調整等モ附近ヨリ容易ニ得ラレルダラウ、色々ナ條件ガ比較的良イカラ、サウ云フヤウナ譯デ率ヲ變ヘテ居ル譯デアリマス、是等メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、是等ニ對シマシテハ御同様ナ要望ガ衆議院デゴザイマシタ、ソレニ區別ヲ致シテ仕事ヲ進メルコトニ致シテ居リマス、是等ニ對シマシテハ御同様ナ要望ガ衆議院デゴザイマシタ、ソレニ區別ヲ致シテ私共サウ云フヤウナ御事情デアルナラバ、重ネテ之ヲ同様ニ私モ考ヘテ居リマシテ、善處シタトイニヤリタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第

二點ノ營團ノ活動ノ區域デゴザイマスガ、是ハ内地ニ限テ居ル譯デゴザイマス、此ノ營團ノ満洲、外地ニ出テ仕事ヲスルト云フコトハアリマセヌ、北海道ハ矢張リ事業ヲ施行スル對象ニナツテ居リマス、是ハ勿論昨日モ御質問ノアリマシタヤウニ、北海道ノ拓殖計畫ニ付テハ十分考ヘテ打合セヲシテヤルヤウニ仕事ヲ進メテ居リマス  
○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ、暫時休憩ヲ致シマス  
午後一時四十一分休憩  
午後四時四十八分開會  
○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス  
○佐藤助九郎君 今回政府ハ將來ノ食糧自給政策ヲ解決セムガ爲ニ本營團ヲ發案サレタノデアリマスガ、私ハ本案ニハ別ニ反対スル者デハアリマセヌ、唯本營團ノ事業遂行ニ當リマシテ、勞働力ノ問題、肥料ノ問題、水利ノ問題、又之ニ伴ヒマシテ工事ノ資材ノ問題等デ容易ナラス問題ト考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ現在ノ未開發地ハ農民ノ開拓シ切ッタ殘リモノデアリマシテ、結局豊オヤリ願ヒタイト考ヘテ居ル次第アリマス、併シナガラ私ノ只今申上ゲテ御意見ヲ承リタイコトハ、當面ノ差迫ッタ實際問題トシテ、今年ノ作付ヲ前ニ控ヘマシテ、今年ハ如何ナル方法デ増產サレルカ、如何ナル助成ニ依ツテ増產サレルカト云フコトト、米價ノ問題デアリマス、此ノ問題ハ自ラ表裏シテ、今年ノ作付ヲ前ニ控ヘマシテ、今年ハ如何ナル方法デ増產サレルカ、如何ナル一體ノ關係ヲ持ツモノデアリマシテ、度々

各委員カラ繰返サレテ居ルノデアリマスガ、農村民ニ對シテハ非常時局ダ、減私奉公ダ、公益優先ダト大聲疾呼シテ見テモ、自ラ赤字ヲ出シテ、又借金ヲ承知ノ上デ米ヲ作ル人ハ極メテ少ノデアリマス、先般ニ瓶委員カラモ地方農村ノ狀況ヲ詳細ニ報告サレマシタ通リニ、農村ノ現狀ハ事變以來勞力ノ拂底ハ豫想外デアリマシテ、現在田畠ノ耕作力ニサヘモ不足ヲ來シテ居ル狀況デアリマス、又農村ノ子弟ハ安イ米ヲ作ルヨリモ軍需工場、軍需工場ヘト農村ヲ棄テ、行クヤウナ狀態デアリマシテ、農村トシテハ此ノ勞力ノ移出ヲ防グ爲ニ、何時モ職業紹介所ト村トノ間ニ軋轢ヲ起シテ居ル狀態デアリマス、而モ茲ニ最モ憂フベキ現象ハ此ノ勞力不足ノ結果、手數ノ掛カル安イ米ヲ作ルヨリ手數ノ掛ラヌ高イ雜穀ヲ主力ニシテ行ク傾向ガ現ハレテ居ルノデアリマシテ、生産者ト致シマシテハ、是ハ理ノ當然デアルト考ヘルノデアリマス、之ヲ放ッテ置キマスト、米麥ノ生産ハ巨額ノ減產ノ一路ヲ辿ルコトハ明カデアリマシテ、吾々農村ノ經營者ハ此ノ「デレンマ」ニ陥ッテ苦シニ居ル譯デアリマス、試ミニ帝國農會ノ調査ニ依ル前三ヶ年、一石當リノ生産費ト最高價格ヲ對照シテ見マスルト、昭和十二年度ハ生産費ガ二十五圓八十七錢、最高價格ガ三十四圓二十錢、昭和十三年度ハ生産費ガ二十八圓四十五錢、最高價格ガ三十五圓二十錢、昭和十四年度ハ生産費ガ三十一圓八十三錢、最高價格ガ四十三圓、何レモ是ハ最高價格ニ賣ツタ場合デアリマシテ、生産者ノ收益ハ七圓乃至八圓、高クテ十圓ノ見當ニナツテ居ルノデアリマス、元來農民ハ今迄商人側ニドウシテモ欺サレ勝デアリマシテ、斯

ノ如ク高値ニ賣ル場合ハ絶對ニナイノデアリマス、何時モ底値デ買占メラレテ、大體ニ於テ一石六、七圓モ取レレバ精々アリマシテ、之ヲ御覽下サレバ農家收入ハ極ムテ貧弱デアルコトハ御察シ出來ルト思ヒマス、昭和十五年度ノ產米ニ付テヘ何レカラモ發表ガナイノデアリマスガ、私ハ約五段歩ノ試作田ヲ持ツテ居リマシテ、先祖代々之ヲ耕シテ居リマス、此ノ收穫カラ割出シテ見マスルト、十五年度ノ生產費ハ一石當リ約三十六錢ガ公定價格デアリマスカラ……差引キ七圓五十四錢ノ收益ガアル譯デアリマス、但是ハ金利、公課ハ計算シテアリマセヌシ、私ハ馬二頭飼ッテ居リマスルノデ、殆ド金肥ヲ用ヒズ、自給肥料ヲ以テヤツテ居ルノデアリマシテ、恐ラク何人ヨリモ生產費ハ安イト思ツテ居リマス、併シナガラ先程申上ゲマシタ通リノ金利及ビ稅金ヲ算入致シマスト、勿論私ノ耕作田モ赤字デアリマス、算用ニ合ハヌコトハハツキシリシテ居リマス、斯ウ云風ナ現狀デアリマシテ、何ト言ツテモミハ現在ノ物價中ノ最モ安イモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、併シナガラ米價ハ上ダラレヌト仰シヤイマス、肥料モ是ヨリ安クハ出來ナイト仰シヤイマス、剩サヘ容レ物ハ只デアルト云フノデアリマス、結局農業生産者ハ全ク浮ブ所ガナイノデアリマシテ、斯様ニ申シマスト、政府ハ助成金ヲヤツテ居ル、補助金ヲヤツテ居ルト仰シヤルカモ知レマセヌガ、昨年度ノ農村關係ナル形ニ使用サレテ居ルカト云フコトヲ、

二、三例ヲ以チマシテ其ノ御参考ニ供シタ  
イト思ヒマス、約二百五十町歩程度ノ寒村  
デアリマスルガ、昨年度一箇年ノ政府カラ  
頂戴シタ補助金ヲ明細ニ申上ダマスルト、  
早稻作付奨励金四百九十八圓、水稻多收穫  
品種購入補助金十圓、水稻ノ防蟲防除助成  
金八圓、水稻耕種改善奨励金五圓、水稻耕  
種改善競技會ノ補助金ガ三十圓、水稻改善  
督勵委員設置費助成金ガ五十圓、部落團體  
活動施設助成金百三十五圓、生産計畫指導  
及肥料消費調整指導員設置費助成金百八十  
圓、自給肥料增產及施設改善奨励金二百七  
十圓、麥病害防除奨勵金十圓、米穀增產獎  
勵金四百五十九圓、水稻苗代助成金ガ四十  
圓、米穀管理施設補助金ガ百八十圓、是ト  
同ジ共同作業ニ對シテ百五十圓デアリマ  
ス、大麥ノ増產施設奨勵金ガ三十八圓、合  
計致シマスト、二千五十四圓ニナリマス、  
斯ウ云フ風ナ我ガ縣ノ狀態デアリマスガ、  
之ヲ一般ニ調ベテ見テモ多少ノ相違ハアリ  
マスルガ、殆ド同様デアリマス、又他ノ縣  
ノ靜岡ニ付テ調ベテ見マシタ、是モ御参考  
迄ニ一應申上ダマス、米穀增產補助金百八  
十四圓、同様デアリマス、部落團體活動促  
進施設補助金ガ七八十八圓、小麦增產補助金  
三十圓、自給肥料增產施設改善普及促進補  
助金ガ百九十圓、農山漁村勤労奉仕施設補  
助金三十圓、食糧增產資源開發施設補助金  
千八十八圓、臨時飼源開發施設補助金ガ四百  
圓、大麥及稞麥增產助成金十四圓、諸增產  
補助金二十圓、重要農林水產物助成金ガ六  
十五圓、自給共同蓄苗圃助成金三十五圓、  
桑園害蟲防除事業助成金三圓五十錢、稻熱  
病防除獎勵金七十二圓、螟蟲防除獎勵金  
一百圓三十五錢、多收穫品種普及奨勵金二

十四圓、大麥裸麥病害防除獎勵金三圓八十三錢、合計致シマスト二千二百六十圓見當デアリマス、之ヲ色々同様ナ村落ニ比較シテ見テモ、先づ一圓内外、我ガ縣デハ一段當リ二石八斗ノ收穫ト見マスト、一石當リ三十五錢程度ノ補助金トナリマシテ、全ク雀ノ涙同様デアリマス、而モ此ノ煩雜ナ項目デ分配サレルノデアリマスカラ、其ノ繁文縟禮ハ、地方自治體ノ勞力不足ノ折柄全ク有難迷惑ナ狀態デアリマス、先日坊城男爵カラ御話ガアリマシタガ、第二豫備金カラ支出サレル三千萬圓ノ使途モ斯カル形式デ地方ニ下サルナラバ是亦矢張リ有難迷惑デアリマス、私ハ此ノ三千萬圓ノ助成金モ餘程考ヘテ御出シニナラヌト、結局大枚ノ金ガ無意味ニ終リハシナイカト考ヘルノデアリマシテ、此ノ點此處デハッキリ如何ナル方法ニ依ッテ、如何ナル方便ニ依ッテ之ヲ御出シニナルカト云フコトヲ御言明願ヒタヒイト斯ウ思フノデアリマス、此ノ助成金ニ付テハ私ハ希望ヲ持ッテ居リマス、出來ルコトナラバ一纏メニシテ村落ニ下サイマスレバ、此ノ頂戴シタ金ハ各々其ノ地方ニ即應シマシテ之ヲ有効適切ニ使ッテ増産ニ邁進スルノデアリマスルカラシテ、ドウカ助成金ナドハ斯ウ云フ細カイ項目デボツリノート御出シニナラズニ、一纏メニシテ地方團體ニ交付サレレバ非常ニ結構ト考ヘルノデアリマス、更ニモウ一つ之ニ關聯シテ御伺ヒシタイノデアリマス、是モ度々衆議院ナドデモ問題ニナツテ居タノデアリマスガ、今日容レ物

共ニ價格ヲ付ケラレテ居ルノハ米ダケアリマス、容レ物ノ僕ハ我ガ縣デハ石當リ素儀デ八十七錢五厘、輸出用外儀及検査料共デ七十五錢デアリマシテ、合計一圓六十二錢五厘、之ガ我ガ縣ノ大體ノ公定値デアリマスルガ、實際調査シテ見マスルト、少クトモ二圓以上掛ツテ居リマス、今日藁工品ハ軍部方面カラ半強制的ニ繩、筵、呴ヲ欲シト言ツテ參リマス、此ノ半面ニ於テ農林省ハ容レ物ハ只デアルト仰セラレルノデアリマスルガ、私ハ此ノ際米價ヲ引上ゲルコトガ出來ナケレバ、政府ノ買上米ノ三千萬石ナリ、三千五百萬石ナリノ容レ物ダケラ生産者ノ農民ニ補助出來ナイカト云フコトヲ特ニ強調シテ申上ゲル次第デアリマス、尙此ノ外色々細カイ資料モアリマシテ申上ガタイコトモアリマスルガ、此ノ二、三點ニ付テ御伺ヲ致シマシテ私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス

ニ於キマシテ早場米ニ生産ヲ獎勵致シマス  
ル爲ニ特別ノ獎勵金ヲ交付スルト云フ約束  
ヲ致シタノデアリマス、之ニ對シマシテハ  
確カ一圓六十錢ニアツタ思ヒマスガ、其ノ  
中一圓ヲ既ニ交付致シタノデアリマスガ、  
六十錢ガ交付ヲシテ無イノデアリマス、此  
ノ約束ハ是ハ實行シナケレバナリマセヌ力  
ラ、現内閣ニ於キマシテモ其ノ約束ヲ實行  
スルガ爲ニ、政府ハ十五年度追加豫算ニ六  
十錢分ヲ計上致シマシテ御協賛ヲ仰イダ次  
第デアリマス、此ノコトハ十五年產米ニ對  
シマシテ早場米ノ特別取扱ヲスルト云フコ  
トノ約束デアリマスカラ、ヤツタノデアリマ  
ス、併シ其ノ半面ニ於キマシテ早場米ニア  
ラザル米ニ付キマシテハ從來ノ通リノ米價  
ヲ以チマシテ、又特別ノ生産ノ補助ハ致サ  
ナイ、斯ウ云フコトガ約束サレテ居ル譯デ  
アリマス、其ノ以外ノ米ニ關シマシテハ別  
ニ生産ノ補助ハシナイケレドモ、早場米ニ  
對シテハ特別ノ補助ヲスル、斯ウ云フコトデ  
來テ居リマス、故ニ此ノ方針ト云フモノハ  
現内閣ト致シマシテモ之ヲ繼承致シマシテ、  
今日迄私八十五年產米ニ付キマシテノ米價  
ノ値上トカ、或ハ特別ノ生産獎勵金ヲ追加  
交付ラスト云フヤウナコトハ致ス意思ハ  
ナイト云フコトヲ明確ニ申上ゲテ居ル譯デ  
アリマス、而シテ將來ノ米價ニ關シマシテ  
ドウスルカ、或ハ將來ノ米ノ生産ニ對シマ  
シテ獎勵金ヲ交付シタラ宜イデヤナイカ、  
斯ウ云フヤウナ御説ハ色々承ッテ居リマス、  
又米ノ價格ガ他ノ農產物又ハ他ノ物價ト均  
衡ヲ失シテ居ルト云フヤウナコトモ屢々承  
テ、關係スル所ガ廣イノデアリマスカラ、

當局ト相談中テアリマシテ、マタ決マシテ居  
リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス、ソレカラ容レ物ノ儀ニ付キマシテハ是  
モ屢々伺フ所デ、今日モウ有ラユルモノガ容  
レ物ニ付テハ困ツテ居ルコトハ御述ベノ通り  
デアリマス、先日モ申上げマシタヤウニ外  
米ヲ入レテ來ルノニモ麻袋ヲ供給シナイト  
云フコトデ困ラサレテ居ルト云フ状態ニア  
リマス、コチラカラ袋ヲ持ツテ行ツテ買ツテ  
來ルト云フ状態デアリマス、從ヒマシテ空  
俵モ可ナリ昔ト違ヒマシテ大變方々デ又引シ  
張リ厭ニナツテ居ルヤウナ譯デアリマス、農  
村ニ於ケル資財ノ不足、殊ニハ労力ヲ省略  
致シマスル關係ニ於キマシテモ、空袋、空  
俵ヲ返シテ貰ヒタイト云フ御要求ハ、可ナ  
リ具體的ノ實情ニ即シタ御要望ト思フノデ  
アリマス、是等ヲドウ云フ風ニ致シマスカ、  
將來慎重ニ考慮致シマシテ、成ルベク都合  
ノ好イヤウニ取計ヒタイト考ヘテ居リマス  
ルガ、何分多量ノ物ヲ斯ク輸送ヲ致シテ消  
費地ニ持ツテ來ナケレバナラヌノデ、其ノ間  
ノ關係ガナカノ、容易ニ行カナイヤウニ思  
ヒマスノデ、御要望ハ十分ニ考慮致シマシ  
テ將來善處致シタイト考ヘテ居リマス  
○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ止メ  
テ……

〔速記中止〕

○子爵野村益三君 私ハ久シ振リデ農業ニ  
關スル特別委員ニ當ツテ、開始以來皆様方ノ  
御論ヲ傾聽シテ來タノデアリマス、是ト共  
ニ色々ノ資料ヲ戴イテ益、此ノ農業問題、農  
政問題ニ關スル興味ヲ新タニシタ、併シナ  
ガラ御尋ねスル事柄ハ大分根本的ノ問題デ、

本計畫ニ無論關聯シマス、見ヤウニ依ツテハ農村問題或ハ全國土ノ問題、斯ウ云フヤウニナル、尙委員ノ方々カラ、或方カラ御述ニナツタコトニ付テモ、多少私申シ添ヘテ置キタイコトモアル、従ツテ隨分其ノ埒ガ、範圍ガ大キクナルダラウト思フ、ソレハ一ツ御迷惑ナガラ御舍ラ願ツテサウシテ進行ヲ願ヒタイ、勿論餘リ埒ガ大キクナツテ是ハドウモ工合ガ惡イト云フ風ニ御感ジニナリマシタラ、ドウゾ委員長カラ御遠慮ナク仰シヤツテ戴キタイト思ヒマス、御尋ネシタイコトハ都合三點アル、一つハ斯ウ云フコトデアル、農村勞力ノ減退ト滿洲拓殖計畫ト云フノガ第一問ナノデアリマス、ソレデ農村ノ勞力ノ不足ト云フコト是ハ掩フベカラザル事實、本計畫ヲ實行スルニ付キマシテモ労力ヲ如何ニスルカト云フコトハ深甚ノ考慮ヲ要スル譯デアリマス、當局ハ所謂餘剩勞力ガアル、ソレヲ借リテ本計畫ヲ達成スル、斯ウ云フ御言葉デアリマスケレドモ、併シ此ノ農村ニ於ケル勞力ノ不足ト云フコトハ、大體論ニ於テ掩フベカラザル事柄ナシデアリマス、其處ニ我々ノオ互ノ心配モアル、他方此ノ満洲開拓ノ如何ニ重要デアルカ、之ガ國策デアルト云フモノハ計畫通り更言フ迄モナイ、處デ戴イタ資料ニ依ツテ検討シテ見マスト云フト、今迄ノ満洲ノ拓殖、詰リ入植者ノ數ト云フモノハ計畫通りニ行ツテ居ラナイ、元々拓務省立ツタ計畫ハ御承知ノ通リ二十箇年ニ百萬戸ヲ入レルト云フノデアリマスガ、ソレハマア是正サレテ、サウシテ近クハ五年間ニ十萬戸入レル拓務大臣ハ衆議院ノ特別委員會デ、決算委

畫ハ十分ニ進行シテ居ルノダ、現ニ十六年  
度ノ入植者ヲ合算スルト、豫定ノ如ク行ッテ  
居ルノダ、即チ十萬人以上ニナルノデアリ  
マス、斯ウ云フ御説明デアッタ、併シ私ハ是  
ハ果シテサウデアルカドウカ分ラナイ、鬼  
ニモ、角ニモ斯ウ云フ際ニ農村ガ非常ニ勞力ノ  
缺乏シテ居ル其ノ結果、本計畫ノ進行ニ付  
テモ多大ノ關心ヲ寄セラレテ居ルト云フ時  
ニ、前ノ計畫通りニ滿洲拓殖ヲ實行スルト  
云フコトハ其處ニ無理ガアルノヂヤナイ  
カ、ト言ッテ只今申スヤウニ滿洲ノ拓殖計畫  
ト云フモノハ國策ナシダカラ、之ヲ打切ル  
トカ、或ハ非常ニ之ヲ縮小スルト云フコト  
ハ出來ナイ、詰リサウ云フ狀態ニアリマス  
カラ、我々トシテ考ヘルト、此處デ次ノ五  
年位ニハ農林當局、拓務當局トガ能ク協調  
サレテ此處ニ又一つノ案ヲ立テラレテ、其  
ノ案ヲ立てラレタラソレヲ實行スル、今迄  
ノヤウニ案ヲ立ツタケレドモ、其ノ實ハ實行  
サレナイト云フヤウナ不安ノコトデナシ  
ニ、案ヲ立て、然ルベク案ヲ立て、立テ  
タ案ハ實行スル、斯ウ云フコトガ必要デア  
ル、ソレニハ農林當局ト拓務當局ガ須ラク  
能ク御話合ヲ願ヒ、其ノ御話合ト云フモノ  
ガ付イテ居ルノデアルカト云フコトヲ伺ヒ  
タイ、ソレカラソレニ關聯シテ又申添ヘテ  
置キタイコトハ此ノ間モ或御方カラ南洋ニ  
於ケル拓殖民ハ餘り望ガナイノヂヤナイカ  
ト云フヤウナ御話ガアリマシタ、ソレカラ  
此ノ現在ハ南洋方面デハ日本人モ澤山行ッテ  
繁榮振リヲ示シテ居ルガ、之ガ幾多ノ「ゼ  
ネレーシヨン」ヲ經タ時ニ一體ドウ云フ人  
ガ出來ルカト云フ點ニ付テ心配ノヤウナコ  
トガアリマシタ、ソレニ付テ多少ノ自分ノ

意見云述ヘテ見タイト思フ 南洋捕死ノ  
南洋ニ向フ所ノ拓殖ノ事ハ、結論ヲ申セバ  
私ハ非常ニ有望グト思ツテ居ル、今日外南洋  
デアレバ、此ノ「ダバオ」ノ隆盛ナル様、「ア  
ボ」ノ山林カラ山腹ニ掛けテ溪ヲ渡リ峰ヲ  
渡クテノアノ盛觀ト云フモノヲ見レバ、「ダバ  
オ」ノ街ハ二萬ニ垂ントス邦人ニ依ツテ打  
建テラレタ事實ヲ見レバ、是ハモウ單ニ「ア  
ランテーション」ト云フダケデナイ、其ノ宜  
シキヲ得レバ拓殖民ガ相當入リ得ルト云フ  
確信ガ付クノアリマス、ソレカラ今ノ内  
南洋ノ狀態ハ、此ノ前下村君ガ仰シヤッタ通  
リ、實ニ比類ナキ繁盛振リヲ示シタモノデ  
アル、私ガ行ツタ時ニモ實ハ島民ノ人口減少  
ト云フコトニ付テ危惧致シタガ、成程離島  
其ノ方面デハ例ヘバ「サムソン」トカ、「トコ  
ベ」ト云フヤウナ所デハ、人口ガ減少ノ傾ヲ  
見テ居ル、併シナガラ大體ヲ大觀シテ見ル  
ト、島民デモ私ハ少クトモ著シイ減少ハナ  
イ、之ヲ北方ノ「アイヌ」民族ノ悲慘ノ現狀  
ニ比ベテ見レバ、サウ云フヤウナ現象ハ南  
ノ方デハ認メラレナイ、斯ウ思フ、此處デ  
其ノ科學的ノ根據デアル、此ノ問題ハ御承  
知カト思ヒマスガ、我々ハ一體南洋ニ向  
クベク出來テ居ル、而シテ「ヨーロッパ」人、  
「アメリカ」人ハ南洋ニ行クベカラザルヤウ  
ニ出來テ居ル、處ガ日本人ハ身體ガ例ヘバ  
眼モ黒イ、眼ト云フモノハ非常ニ日光ニ  
耐ヘラレルダケノ構造ヲ持ツテ居ル、處ガ西  
洋人ハサウデナイ、「アメリカ」人ハサウデ  
ナイ、ソレカラ我々ハ非常ニ良イ「メラニ  
ン」ガアル、「メラニン」ハ日光ヲ受ケレバ  
ソレニ對應シテ、「メラニン」色素ト云フモ  
ノハ日光ニ對スルトソレガ「ツノ膜ニナル、  
斯ウ云フモノハ日本人ト「ヨーロッパ」人、

「アメリカ」人トハ非常ナ違ヒナンダ、我々ハソレニ富ンデ居ル、優勢ナ地位ヲ占メテ居ル、モウ一ツ食ヒ物ノ問題、我々ハソントニ肉ヲ餘計食フ必要ハナイ、「バターラ」ヲ動物質ト蛋白質ヲ攝ラナケレバナラヌ、日本人ハサウデナイ、魚ヲ食ッテ居レバ宜イ、サウ云フ元カラノ特徴ヲ日本人ハ具ヘテ居ル、我々ハ南方ニ向ッテ移植スルダケノ茲ニツノ資格ヲ生レナガラニシテ得テ居ル、ソレカラ最モ頼リニナル、内外ニ認メテ貰ハナケレバナラヌ事ハ、我ガ國ノ南方統治ノ有様、御承知ノ通り「ヨーロッパ」人、「アメリカ」人ノ南方統治ノ本體ハ言フ迄モナク搾取主義デアル、處ガ日本ハサウデナイ、南洋ノ統治ヲ御覽ニナシテモ決シテ搾取主義デナクテ、隨分低等ノ文化ニアッタ島民ハ、今ハ教育モ受ケラレル、相當ナ文化ノ露ニ潤ヒ得ル、而シテ鼓腹擊攘シテ此ノ昭和ノ御代ヲ壽イデ居ル、サウ云フヤウナコトハ外ノ方デハ見ラレナイ、ソレデ科學上ノ基礎、統治上ノ特別ニ優レタ方法ニ依ッテ益々我ガ國ト云フモノハ南方ニ進出シ得ル、又我ガ日本人ハ南方ニ於テ繁榮ラ來スコトガ出來ル、若シ相當ナ地積ヲ、土地ヲ與ヘサヘスレバ此處デ繁榮スル、併シナガラ御承知ノヤウニ南ノ方デハ我々ノ進出ヲ阻ンデ居ル、ソレダカラ相當ノ地積サヘ得レバレデハ其ノ土地ハドウダト云ヒマスト今ハナイ、我々ガ二十何年モ前ニ往々タ時ニハ蘭領印度總督ノ話デハ、東經百三十度以東ナラドウデモナサイト云フヤウナコト

迄言シテ居ツタ、即チ「ニユーギニア」ト云フヤ  
ウナモノヲ勝手ニ……言葉ヲ換ヘテ言フト  
勝手ニ開拓ナサイト言ハムバカリノ状態デ  
アッタ、併シナガラ土地ヲ得ルト云フコトハ  
今ハナカ／＼ムツカシイ、政治上ノ手腕ニ  
依ツテ今ノ入國ノ制限ヲ撤廢セシムルト云  
フコトモ一ツノ方法デアリマスケレドモ、  
今現ニ満洲拓殖公司ガ満洲デヤツテ居ルヤ  
ウナ方法デ、近キ將來ノ問題トシテ適當  
ノ土地ヲ獲得スルトスレバ拓殖移民ガ出來  
ル、ソレガ暑イ所ニ因ルト云フヤウナコト  
ヲ當リ前ノ人方話シマスケレドモ、同ジ南  
洋ニ行ツテモ大キナ島デ、サウシテ高原地帶  
ガアル、其ノ高原地帶ニハ菊ノ花ガ咲クト  
云フヤウナコトデアル、而モ其ノ地積ニハ  
一千萬町歩ノ耕地ガアル、日本ノ今ノ全農  
民ヲソックリ持ツテ行ツテモ其處ニ當嵌メ得  
ルト云フヤウナ土地サヘ備ヘラレテ居ル、  
ソレダカラ私ハ決シテ土地柄ト雖モ望ミガ  
ナイノデナイ、望ミガアル、若シモット進ヌ  
バ買ツテモ宜イト思フ、嘗テ我々ノ先輩ハ樺  
太ヲ買ハウトシタ、値段ノ點デ此ノ纏マリ  
ガ附カナカッタ、値段ノ點モアリマスケレド  
モ、事變ガ突發シタ爲ニ到頭其ノ交渉が出来  
ナカッタ、我々ノ方デモ七、八年前ニハ  
「ニュギニア」買收論サヘアッタ、ダガ私ハ  
或ノ方法ノ下ニ適當ナ值デ相當ナ地積ヲ買ツ  
テ、サウシテ其處ニ南方ノ拓殖ヲ實現セシ  
ムルト云フコトモ出來得ルト思フ、是ハ  
マア私ノ考ダケヲ申上ゲル、ソコデ今ノ數  
度ノ「ゼネレーション」ヲ經タラ南方ニ移佳  
シタ國民ハドウナルカト云フ問題デアリマ  
スガ、私ハ斯ウ云フコトダケハ言ヘルト思  
フ、ソレハ我々トハ多少違フ人が出來ルニ  
シテモ、外ノ國ニ比シテハ最モ優秀ナル佳

民ガ出来ル、斯ウ云フコトハ確カダト思  
フ、是ハ今ノ南方進出竝ニ南方ニ於ケル育  
成ノ問題デアリマスガ、ソコデ大臣ニ一ツ  
御考慮願ヒタイコトハ、是モ此ノ前ニ御話  
ガ出マシタガ、アノ農林省ノ中ノ委員會ニ  
矢張リサウ云フ方面ノ人ヲ委員トシテ御入  
レニナルコトガ宜イト思フ、嘗テ農林審議  
會デ私ガ述ベタ、何シロ我々ノ生活必需品  
ト云フモノハ内地ダケデハ考ヘラレナイ、  
米ヲ御覽ナサイ、牛ヲ御覽ナサイ、木材ヲ  
御覽ナサイ、繩羊ヲ御覽ナサイ、是ハ日本  
ダケデ出來マスカ、ドウシタテ外地ノ力ヲ  
借ラナケレバナラナイ、然ルニ此ノ農林審  
議會ノ委員ノ顛振ヲ見ルト拓務省關係ノ人  
ハ一人モ居ラヌ、是ハドウ云フ譯デスカト  
云フコトヲ、時ノ大臣ニ御問ヒシタ處ガ、  
何トカ言ツテ居ラレマシタガ、幸ヒニモ、是  
ハ石黒サンノ御心配カト思ヒマスガ、近頃  
ノ農林計畫委員會ノ中ニハ拓務省ノ人ガ出テ  
居ル、併シ御承知ノ通り、拓務省デモ拓務局  
ガ分レテ拓北、拓南トナリ、私ガ希望スル  
所ハ矢張リ從前拓務局長ガ委員トシテ入ツテ  
居ツタノダカラ、其ノ拓務局ガ二ツニ分レタ  
タ以上ハ、殊ニ今ノ南方ノ問題モアリマス  
カラ、矢張リ此ノ委員ノ中ニ拓北、拓南兩  
局長位ハ御入レニナレバ宜イト思フ、多分  
今其ノ委員ガ備ツテ居ラスト思フ、重ネテソ  
レダケノ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマ  
ス

○國務大臣(石黒忠鷲君) 南方ニ我ガ民族  
ガ發展ヲスルト云フコトハ、私ト致シマシ  
テモ前々カラ可ナリ熱心ニ考ヘタ時代ガア  
ルノデアリマス、出來レバ其ノ方ノ發展策  
ヲモ考ヘタイト云フヤウニ思ヒマス、殊ニ  
御話ノヤウニ、必ズシモ暑イ所ダケデハナ  
イノデ、又暑イ所デモ熱帶產物ト云フモ  
ノハ、ドウシタッテ今日ノ國家生存上必要デ  
アリマスルカラ、南方デナケレバ出來ナイ  
物モ、是ハ澤山ノ植民ヲ出スト云フ譯ニハ  
イカスカ知レマセヌガ、「ブランテーション  
ン」トシテ採ルト云フ仕組ヲ内地人ガ持ツ  
ト云フヤウナコトハ結構ナコトダト考ヘテ  
居リマス、氣候ノ暑クナイ所ニハ植民ヲ十  
分ニシタラ結構ダト考ヘテ居ル次第アリ  
マス、而シテ農林省關係ノ農林計畫委員會  
其ノ他ニ出來ルダケ拠殖方面ノ人モ入レル  
ト云フコトハ、私全ク御同感デアリマシテ  
大キク考ヘナケレバイカント思ツテ居リマ  
ス、拓務省ノ局ガ分レマシテ、拓北、拓南  
ニナリマシタノハ最近ノコトデアリマスカ  
ラ、御指摘通り拓南局長ト云フモノヲ將來  
考ヘテ之ヲ適當ニ入レルヤウニト云フ御趣  
旨ハ結構ダト考ヘマス、大體ニ於キマシテ  
今迄ノ農林省ノ委員會ノ構成ト致シマシテ  
ハ、殖產局長ヲ入レテ居リマスノデアリマ  
ス、是デ連絡ヲ執ツテ貰ツテ居リマスヤウナ  
次第デアリマス、尙將來ノ點ニ付キマシテ  
ハ、能ク御趣旨ハ考慮ニ入レテ決メタイト  
思ツテ居リマス

道ノ鼓吹ト云フコトデアリマス、既ニ物資ガ不足デアル、勞力モ不足デアル、スレバ本計畫ノ遂行、大キク言ヘバ農村ノ振興ト云フコトハ、所謂精神力デ行カナケレバイカヌ、是ハ今日矢張リ委員ノ申ラ御話が出マシタ、ソコデ私實ハ感ジラレタコトガアルノデスガ、是ハ當局ト雖モ御氣附ト思ヒマスガ、此ノ農村ノ青年ニ向ツテ、農村ヲ離レルナト云フコトヲ申シマスト、青年ノ中ニハ、ソレハ御話ノヤウニ農村デ農業ニイソシムノモ報國ノ道ダ、併シ工場ニ出テ工業ノ振興ヲ圖ルノモ國ニ報ニル所以ダ、斯ウ云フコトヲ言フ者ガ澤山アル、是ハ當リ前ノモノダト云フト、ナカノソレニ返ス言葉ハナイヤウニ思フガ、サウ云フヤウナ僻見、偏見ヲ逞シサセルト云フコトニナル、ドウモ是デハ私ハイカヌ、矢張リ精神的ニ農村ヲ離レナイ、農村デ農業ニイソシムコトガ最モ自分ノ名譽デアル、報國ノ最モ重要ナルモノダト云フコトヲ自覺サセナケレバイカヌ、處ガソレデヤ、ソレガ私ノ所謂農民道ノ昂揚ト云フソレノミヂヤイカヌ、矢張リ農業關係以外ノ者ニモ所謂農民精神ノ、所謂農民道ノ鼓吹ヲシナケレバイカヌ、今日農業ト云フモノニ對シテ、農業以外ノ者ガドウ見テ居ルカト云フト、我々ガ、御同様ガ若イ時ノヤウナ考デヤナイト思フ、是ガ私ハ農村振興ノ、大キク言ヘバ國土繁榮ノ基デアル、是ハマア謂フ迄モナイ話デ、皆様モ御存ジデアリマスケレドモ、唯問題ハソレデハドウシタラ農民道ノ昂揚ヲ圖ルカト云フコトニ在ル、ソレデ石黒サンハ農村更生協會ヲ御立てニナリ、或ハ道場ニモオイデニナリ、内原ノ方へハ屢々オイデニナッテ、所謂農民道ノ御指摘デアリマスガ、私モ御同様ニ考ヘ

鼓吹ヲサレテ、其ノ點ニ於テハ私ハ大イニ感謝シテ居リマス、ケレドモソレヲモウ少シ具體的ニモット廣く御考ヘニナルノガ宜クハナイカ、ソレデ農民道トハ何カト云フコトニナリマスト、是モ實ハ昨夜モ考ヘタ、ドウ云フコトガ一體農民道ダト云フコトヲ申考ヘテ見タンデスガ、是ハ皆サンモオイデアリマスルカラ、一ツ御檢討ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、農業ノ特質ト謂ヒマスカ……」  
シマスト、青年ノ中ニハ、ソレハ御話ノヤウニ農村デ農業ニイソシムノモ報國ノ道ダ、併シ工場ニ出テ工業ノ振興ヲ圖ルノモ國ニ報ニル所以ダ、斯ウ云フコトヲ言フ者ガ澤山アル、是ハ當リ前ノモノダト云フト、ナカノソレニ返ス言葉ハナイヤウニ思フガ、サウ云フヤウナ僻見、偏見ヲ逞シサセルト云フコトニナル、ドウモ是デハ私ハイカヌ、矢張リ精神的ニ農村ヲ離レナイ、農村デ農業ニイソシムコトガ最モ自分ノ名譽デアル、報國ノ最モ重要ナルモノダト云フコトヲ自覺サセナケレバイカヌ、處ガソレデヤ、ソレガ私ノ所謂農民道ノ昂揚ト云フソレノミヂヤイカヌ、矢張リ農業關係以外ノ者ニモ所謂農民精神ノ、所謂農民道ノ鼓吹ヲシナケレバイカヌ、今日農業ト云フモノニ對シテ、農業以外ノ者ガドウ見テ居ルカト云フト、我々ガ、御同様ガ若イ時ノヤウナ考デヤナイト思フ、是ガ私ハ農村振興ノ、大キク言ヘバ國土繁榮ノ基デアル、是ハマア謂フ迄モナイ話デ、皆様モ御存ジデアリマスケレドモ、唯問題ハソレデハドウシタラ農民道ノ昂揚ヲ圖ルカト云フコトニ在ル、ソレデ石黒サンハ農村更生協會ヲ御立てニナリ、或ハ道場ニモオイデニナリ、内原ノ方へハ屢々オイデニナッテ、所謂農民道ノ御指摘デアリマスガ、私モ御同様ニ考ヘ

鼓吹ヲサレテ、其ノ點ニ於テハ私ハ大イニ感謝シテ居リマス、ケレドモソレヲモウ少シ具體的ニモット廣く御考ヘニナルノガ宜クハナイカ、ソレデ農民道トハ何カト云フコトニナリマスト、是モ實ハ昨夜モ考ヘタ、ドウ云フコトガ一體農民道ダト云フコトヲ申考ヘテ見タンデスガ、是ハ皆サンモオイデアリマスルカラ、一ツ御檢討ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、農業ノ特質ト謂ヒマスカ……」  
シマスト、青年ノ中ニハ、ソレハ御話ノヤウニ農村デ農業ニイソシムノモ報國ノ道ダ、併シ工場ニ出テ工業ノ振興ヲ圖ルノモ國ニ報ニル所以ダ、斯ウ云フコトヲ言フ者ガ澤山アル、是ハ當リ前ノモノダト云フト、ナカノソレニ返ス言葉ハナイヤウニ思フガ、サウ云フヤウナ僻見、偏見ヲ逞シサセルト云フコトニナル、ドウモ是デハ私ハイカヌ、矢張リ精神的ニ農村ヲ離レナイ、農村デ農業ニイソシムコトガ最モ自分ノ名譽デアル、報國ノ最モ重要ナルモノダト云フコトヲ自覺サセナケレバイカヌ、處ガソレデヤ、ソレガ私ノ所謂農民道ノ昂揚ト云フソレノミヂヤイカヌ、矢張リ農業關係以外ノ者ニモ所謂農民精神ノ、所謂農民道ノ鼓吹ヲシナケレバイカヌ、今日農業ト云フモノニ對シテ、農業以外ノ者ガドウ見テ居ルカト云フト、我々ガ、御同様ガ若イ時ノヤウナ考デヤナイト思フ、是ガ私ハ農村振興ノ、大キク言ヘバ國土繁榮ノ基デアル、是ハマア謂フ迄モナイ話デ、皆様モ御存ジデアリマスケレドモ、唯問題ハソレデハドウシタラ農民道ノ昂揚ヲ圖ルカト云フコトニ在ル、ソレデ石黒サンハ農村更生協會ヲ御立てニナリ、或ハ道場ニモオイデニナリ、内原ノ方へハ屢々オイデニナッテ、所謂農民道ノ御指摘デアリマスガ、私モ御同様ニ考ヘ

鼓吹ヲサレテ、其ノ點ニ於テハ私ハ大イニ感謝シテ居リマス、ケレドモソレヲモウ少シ具體的ニモット廣く御考ヘニナルノガ宜クハナイカ、ソレデ農民道トハ何カト云フコトニナリマスト、是モ實ハ昨夜モ考ヘタ、ドウ云フコトガ一體農民道ダト云フコトヲ申考ヘテ見タンデスガ、是ハ皆サンモオイデアリマスルカラ、一ツ御檢討ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、農業ノ特質ト謂ヒマスカ……」  
シマスト、青年ノ中ニハ、ソレハ御話ノヤウニ農村デ農業ニイソシムノモ報國ノ道ダ、併シ工場ニ出テ工業ノ振興ヲ圖ルノモ國ニ報ニル所以ダ、斯ウ云フコトヲ言フ者ガ澤山アル、是ハ當リ前ノモノダト云フト、ナカノソレニ返ス言葉ハナイヤウニ思フガ、サウ云フヤウナ僻見、偏見ヲ逞シサセルト云フコトニナル、ドウモ是デハ私ハイカヌ、矢張リ精神的ニ農村ヲ離レナイ、農村デ農業ニイソシムコトガ最モ自分ノ名譽デアル、報國ノ最モ重要ナルモノダト云フコトヲ自覺サセナケレバイカヌ、處ガソレデヤ、ソレガ私ノ所謂農民道ノ昂揚ト云フソレノミヂヤイカヌ、矢張リ農業關係以外ノ者ニモ所謂農民精神ノ、所謂農民道ノ鼓吹ヲシナケレバイカヌ、今日農業ト云フモノニ對シテ、農業以外ノ者ガドウ見テ居ルカト云フト、我々ガ、御同様ガ若イ時ノヤウナ考デヤナイト思フ、是ガ私ハ農村振興ノ、大キク言ヘバ國土繁榮ノ基デアル、是ハマア謂フ迄モナイ話デ、皆様モ御存ジデアリマスケレドモ、唯問題ハソレデハドウシタラ農民道ノ昂揚ヲ圖ルカト云フコトニ在ル、ソレデ石黒サンハ農村更生協會ヲ御立てニナリ、或ハ道場ニモオイデニナリ、内原ノ方へハ屢々オイデニナッテ、所謂農民道ノ御指摘デアリマスガ、私モ御同様ニ考ヘ

問題ニ直接シタモノヲ取扱ヒ、又目的ヲ其處ニ直接續ケテ行クト云フ所ニ相違ガアルヤウニ思フ、之ヲ捉ヘテ以テ此ノ心理ヲ明確ニシ、自覺サセテ行クコトガ非常ニ必要デアルト私ハ思フノデアリマス、モウ一ツハ、色々ノコトヲ急ニ變ヘルコトデヤアリマセヌガ、長イ間ニ移リ變リガゴザイマスガ、

兎モ角毛長ク色々ナ力ヲ續ケテ行クト云  
フコトガ必要デアルト思ヒマス、其ノ意味  
ニ於テ、繰返シテ使フ國土ノ地力ト云フモ  
枯ラサナイヤウニシテ行ク、是ガ非常ナ大  
事ナコトダラウト思ヒマス、或天然物ヲ自  
由ニ採ツテ來ルト云ツタヤウナコトトハ違  
ヒ、又採掘シテシマッテ物ガ無クナッテ來ル  
ト云フノト違ツテ、長キニ瓦ツテ國土ヲ培養  
シツツ、生産ニ使ツテ行ク、從ツテ今日ノ農民  
ノ義務ハ、次ノ時代ニ傳ヘルノニ地力ヲ増  
加シテ傳ヘルベキ義務ガアルノデ、之ヲ枯  
渴セシメテ傳ヘテハ相成ラスト云フヤウナ  
所ニ非常ナ重點ガアルヤウニ考ヘマス、之  
ヲ強調シナケレバナラスト云フヤウナニ一點  
ヲ特ニ即座ニ氣ガ附キマシタ譯デアリマス、  
併シ其ノ他ノ點ニ付テ色々考察致シマシ  
テ、本當ニ百姓ラシイ、誠ニ麗ハシイ氣持  
トニハ有ラユル觀察ヲ致シマシテ、子爵ノ  
所謂農民道ヲ昂揚シテ行クコトガ非常ニ大  
事デアルト考ヘテ居リマス

○子爵野村益三君 誠ニ結構ナ御話ヲ承ツ  
テ有難ウゴザイマシタ、ソコデ今ノ農民道  
ノ鼓吹デスガ、是ハ私ノ氣附キデアリマス  
ガ、今ノ御話ノ外ニ、學校ノ方面、殊ニ青  
年學校、或ハ今度改組サレタ青少年園、斯

ウ云フ方面ニモ一ツ勵キカケテ戴キタイ、  
既ニ國民學校モ此ノ四月カラ出來テ、我々  
ガ二百回モ會議ヲ重ネテ出來マシタ學制ヲ  
改革案ト云フモノガ漸ク實行ノ緒ニ就イ  
タ、殊ニ青年學校ハドウシテモ擴充シナケ  
レバナラスト云フノデ、マア形モ出來タ、  
斯ウ云フ方面ニ所謂農民道ノ鼓吹ト云フモ

ノヲ、色々ナ方法ニ依ツテ御勵キ掛ケニ  
ル、サウシテ將來ノ國民ヲ、我々ヨリヨリ  
以上農業ノ神聖ナル、農村ノ大切ニスベキ  
コトヲ感得セシメルト云フコトガ、私ハ最  
モ必要デアルト思フノデアリマス、ドウカ  
其ノ點ニ付テモ御考慮ヲ願ヒタイ、只今仰  
セラレタ萬物生々、生物成育、是等ハ丁度  
人間ト同ジヤウニ思フノデス、人間ヲ育テ  
ル、農作物ヲ育テルト云フヤウナコトハ、  
非常ニ能ク似テ居ル、共通シタ點ガアリマ  
スカラ、教育ノ方面ニモザウ云フ精神ヲ植  
エ込ムト云フコトヲ御考ヘ願ヒタイ、斯ウ  
思フノデアリマス、ソレカラ端折ツテ次ニ  
移リマスガ、第三ハ、國民體力ノ向上ニ考  
慮ヲ加ヘラレテ、ヨリ以上此ノ方面ニ協力  
ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ譯デアリマス、此ノ  
前ニ榮養ノ問題ヲ御話シテ、食糧ノ問題ニ  
遡及シテ御話シタノデアリマスガ、結局榮  
養問題ト云フコトヲ私共ガ言フノハ、國民  
體力向上ト云フコトヲ志ス譯デアリマス、  
此ノ前御尋シタ時ニハ、御答辯ヲ得テ有難  
ゴザイマシタガ、何ダカ水産ニ關シタヤウ  
ナ風ニ御取リニナツカト思ヒマス、私ハ此  
ノ榮養ノ問題ト云フモノハ水産以上ニ考  
ヘル、尙此ノ榮養物トシテ水產物ヲ攝レト  
云フコトガ結論デス、趣旨ハ、榮養ト云フ  
モノハ水產以上、況シヤ國民體力ノ向上ト  
云フノハドウシタゞテ今ヤラナケレバイケ

ナイ、ソレヲ怠ッタラトンドコトニナルト  
云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル、而シテ其ノ繁養  
物トシテノ供給サレル元ハ農林省ノ手ニ在  
ル、ソコデ農林省ハ生産ノ擴充ト云フコト  
ヲ考ヘラレルト共ニ、國民ノ繁養ト云フコ  
トヲ考ヘテ、結局我々ノ熱望スル、又期待  
スル國民體力ノ向上ト云フコトニ、一層ノ

御努力ト御協力トヲ願ヒタイト云フノガ私ノ考ナノデス、ソコデ此ノ榮養ノ問題ヲ私ノ御話シヨウト思フ、此ノ前ハ時間ガナクテ實ハ徹底シナカッタ、デアリマスガ、結局はマア御承知ノコトト思ヒマスガ、腹ガ膨レルモナイ、決マッテ居ル、ソレハ、是モ御承知ト思ヒマスガ、先ヅ大人デ中等程度ノ勞ヲスル者ハ「カロリー」ニシテ一日二千四百「カロリー」、而シテ蛋白質ハ八十「グラム」ヲ攝ル、其ノ八十「グラム」ハ植物性デハイカヌ、ドウシテモ其ノ約四分ノ一、二十「グラム」ト云フモノヲ動物質カラ攝ラナケレバイカヌ、是ハタクノ定論デス、其ノ點ニ付テハモウ疑フ餘ヲハナイ、之ヲ基準ニシテ色々ノ地方ニ應ジタ榮養食ヲ考ヘル、ソシテ國民ノ榮養、延イテハ體力ノ向上ト云フモノヲ圖ラナケレバ、バイカヌ、是ガ基準ナンデス、従此ノ前ニ御話デアリマシタガ、私ハソレハマダモウ少シ實ハ伺ヒタカツタンデス、現ニデス、中央物價統制協力會議デ非常ニ苦心ヲシテ食糧ニ付テ發表サレタモノガアル、是ガ私ハ非常ニ權威アルモノト思ヒマスガ、其ノ計

算ニ依ツテモ、動物質ノ蛋白質ト云フモノハ少イ、其ノ基準ノ量ニ比較シテ少イ、アレハ確カ十五「グラム」ト思ヒマス、現ニ二十「グラム」ニ比較スレバ五「グラム」減ツテ居ル、ソレデハ標準量ニナラヌ、デ我々ノ方ノ計算ニ依リマスト、ドウシテモ矢張リ足リナイ、足リナイ所ハドウスルカト云フト、ソ

レハ水產物ヲ以て補フノガ一番合理的デア  
ル、併シソレヂヤドレダケノ水產物ヲ加ヘ  
タラ宜イカト云フト、是ハマア非常ナコト  
ニナリマスガ、率直ニ申上ゲマスト今供給  
シテ居ルモノヲ、ソレダケ供給シナケレバ  
標準量ニナラナイ、斯ウ云フコトニ我々ハ  
考ヘテ居ル、是ハ大變ナコトニナル、若シ  
サウ云フヤウナ勞養額ニ達シナクテ非常ナ  
勞働ヲスル、或ハ非常ナ疾病ニ冒サレルト  
ナルト、ソレコソ大變、トテモ將來ノ日本  
ヲ背負ッテ立ツコトノ出來ナイコトニナッテ  
シマヒハシナイカト云フコトヲ恐レル、是  
ハツ十分ニ御認識ヲ願ツテ置キタイト思  
フノデアリマス、處デ今日現在ノ實情ヲ見  
マスト云フト、モウ農村ト云ハズ都會ト云  
ハズ、非常ニ此ノ保健衛生ノ點ガ不満デア  
ル、御話ニナラヌ、都會デ申シマスレバ、  
非常ニ近眼ガ多イ、小學校ノ者デヤ、數ニ  
シテ十八「ペーセント」近眼者デアリスガ、  
段々學校ガ進ムニ從ツテ殖エテ行ク、大學程  
度ニナルト五十八「ペーセント」ハ近視眼者、  
之ニ厚生省アタリガ大慌テニ慌テ、現ニ  
其ノ對策ニ付テ諮詢ヲシテ居ル、是モ矢張  
リ榮養ノ關係デス、ソレカラ農村ノ方ヘ行ク  
ト云フト「トラホーム」ガ今モ昔モ變ラナイ、  
農村デモ一番特徵ガアルノハ寄生虫ノ害デ  
アリマス、是ハドレダケ生産力ヲ害シテ居  
ルカ分ラナイ、ドコノ農村ヲ見テモ六十五

「パーセント」、甚ダシイ所デハ千分ノ七百八  
トト云フノガ皆寄生虫ヲ持ッテ居ルガ、一  
向御構ヒナシ、ソレカラ東京……花ノ御江  
戸ノ眞中ニハ「チブス」ガアル、天然痘ガアリ、  
猩紅熱ガ流行ル、ナッテ居ラヌ、サッキ申上  
ガタヤウニ、日本國民ニ血ヲ供給スル軍隊  
ト、戰資ヲ供給スル農村ノ狀態ハドウカト  
云フト、衛生保健ノ設備トシテ、驚クナカ  
レ無醫村ガ三千七百アル、保健所ハ五百五  
十箇所ニ置イテ十分ニ働くセル設計デハア  
リマスケレドモ、今幾ラアルカ、甚ダ以テ  
心許ナイ、現状ハサウデアツテ、保健衛生ノ  
設備ト云フノガナイ、壯丁ノ體格ガ段々低  
下スルト云フコトハ是ハ事實デアリマス、  
私ハ非常ニ驚イタコトハ、此ノ前ノ兵役法  
ノ改正ノ時ニ、文部大臣厚生大臣陸軍大臣  
ニ來テ貰シテ、私ハ大AIニ論議フシタガ、斯  
ウ云フ驚クベキ事實ヲ發見シタ、ソレハ大  
正七年生デ昭和十三年ニ適齡デアル、サウ  
シテ検査ヲヤッタ數ヲ溯ツテ調べテ見ルト、  
同ジ大正八年生レデサウシテ昭和十四年ニ  
適齡デ検査ヲスル、ソレガドウ云フ風ナ數  
ニナルカト云フト、調ベタ處ヲ手取早ク申  
シマスルト、生レタ者ガ二十迄ニナツテ、  
御國ノ爲ニ役ニ立タウト云フ者ハ多クテ七  
十「パーセント」、今御話シタ數ハ六十「パ  
ーセント」、百人デ以テ二十歳迄永ヘル數ト  
云フモノハ六十八デ七十ナイ、是ハ私ハ等  
閑ニ出來ナイト思フ、蝶ヨ花ヨト愛デ育テ  
ケル數ハサウデアリマスケレドモ、其ノ中  
デ甲種合格、即チ詰リ本當ニ御國ノ爲ニナ  
ルノハドノ位アルカ、ソレハ前ノ百人ニ  
較ベテ五十二シカナイ、是ハ驚クベキ

居リマセヌケレドモ、斯ウ云フ状態ニ在ル、  
榮養ノ問題ト云フモノハ等閑ニ出来ナイ、  
榮養ノ問題ヲ考ヘテ國民ノ體位ノ向上ヲ圖  
ル、ソレニハ農林省ガ重大ナル、重要ナ又  
廣イ立場ヲ持ツテ居ラレルト思フ、如何ニ厚  
生省ガ彼此レ言ツテモ、國民ノ榮養ト云フモ  
ノヲ農林省ガ供給シナカツラ駄目デアル、  
私ハサウ云フ意味ニ於テ、生產擴充モ結構  
ダ、其ノ生產擴充ニ付テハ榮養ト云フコト  
ヲ考ヘナケレバナラス、其ノ榮養ト云フコ  
トヲ考ヘラレテ、究極スル所國策ニ協力サ  
レテ、國民體位向上ト云フコトヲ目當ニ一  
ツ此ノ上ノ御盡力ヲ願ヒタイ、斯ウ云フノ  
ガ私ノ熱望ナンデアリマス、此ノ點ニ付テ  
大體御所見ヲ承リタインデアリマス

デアリマス、同ジ米ノ中デモ、今迄ノ取引  
ノ市場ノ關係カラ云ツテ、品質ト云フコトヲ  
言ツタガ、商人ノ關係デ、實ハ非常ニ科學的  
意義ガナカツタガ、品質上ニ對スル注文トシ  
テ現レテ來タト云フヤウナコトモアル、サ  
ウ云フモノヲ斯ウ云フ時代ニナリマスト、  
引換ヘテ、差當リハ數量ノ多イ物ト云フコト  
ニ重キヲ置イテヤラナケレバナラヌ差向キ  
ノ事情デハアリマスケレドモ、將來ハ矢張  
リ品質ト云フコトニ付テモ、モット科學的根  
據ノアル品質ニ付テノ注文ガ出テ來ルヤウ  
ナ試驗調査ヲシナクチヤナラヌト考ヘテ居  
リマス、ソレ等ハ只今學術振興會ノ方デ各  
種ノ米ニ付テ、人ガ喰ウテ見テ、サウシテ  
本當ノ榮養上、排泄シタ結果ヲ巨細ニ調べ  
テ居ル委員會ガゴザイマス、ソコラノ結果  
等モ十分ニ考慮ノ中ニ入レテ、將來少シ長  
キニ瓦ルコトト思ヒマスガ、十分考慮シテ  
ヤツテ參りタイト斯ウ考ヘテ居リマス  
○子爵野村益三君 私ハ是デ質問ヲ終リマ  
ス  
○委員長(伯爵黒木三次君) チヨット速記  
ヲ……  
〔速記中止〕

コトモ私申スコトヲアノ時ニ失念シテ來  
居ツタノデス、ナカニ良イ案ガ出テ來  
ナイノデスガ、私共ガ物價委員會カラ  
物價審議會へ移ツテ其ノ後、私ハ食糧ノ專門  
價格委員長ヲシテ居リマシタガ、此ノ食糧  
ノ方ヲ専門委員ノ方ナドハ生鮮食糧ト言ハ  
ズ、其ノ他雑穀、或ハ砂糖、醬油、麥酒、  
酒他其ノ他總テモノガ更ニ今度農林省ノ  
方ヘ纏ツタサウデスガ、是ハ此處デ御意見ヲ  
伺フト云フヨリモ御考慮ヲ願ツテ置キタイ  
ノハ、私ハ纏ツタ成案ハナイガ、寧ロ此ノ米  
穀統制委員會ト云フ所デ、米穀ノ問題ハア  
ノ法律ノ下デヤツテ居リマスルガ、其ノ米穀  
ノ現在及將來ヲ考察スル時ニハ、ドウシテ  
モ此ノ食糧品ガ御互ニ有無相通ズル關係ガ  
アリマスカラ、ソレデ矢張リ名前ハドウナ  
リマスルカ、又米穀統制法モ變リマセウ  
ガ、要スルニア云フ特別ノ、米穀ト云フ  
モノガ物價ノ中心デアリ、又生活ノ中心デ  
アリマスカラ、ソレニ伴フ雑穀ナリ、其ノ他  
ノ食糧品全部ヲアシアシタ會デ審議サレルト云  
フコトガ矢張リツノ方法デアラウト思ビ  
マス、過般ナド私共ガ食糧ノ委員會ノ方デ  
小麥トカ、醬油トカ、酒トカ云フモノヲ頻  
リトヤツテ居ルト、御承知ノヤウニ米ノ値ガ  
急ニ騰ツタ、是ハ米穀統制委員會モ間ハレ  
タサウデスガ、アノ時ハ非常ニ早急ナ事情  
ガアツテ、之ヲモウ此所デアノ時ノ内容ヲ申  
ス迄モナイコトデアリマスガ、更ニアノ時  
ニ我々考ヘラレタノハ、ソレカラ後又直グ  
ガアツテ、之ヲモウ此所デアノ時ニ他ノ  
管デアラウト、所管ガ變ツテ居ラウガ、ソン  
ナコトハ構ハナイデ、日常ノ物價ノ中デ矢  
煙草ノ値ガ騰ツタ、一般民衆ニハ大藏省ノ所  
物價ノ委員會ナリ、サウ云フ組織卜全然聯

繫ナシニアレハ騰ツタ、サウ云フコトガ詰リ  
我々ハトテモ此ノ物價ノ統制ト云フヤウナ  
コトニ責任ガ持テスト云フコトデ、我々モ  
多少決意シタコトガ、今度物價審議會が出  
來夕所以ニモナツテ居ツテ、是等ノ事情ハ農  
林大臣ハモウ萬々御承知グラウト思フ、其  
ノ物價審議會モ其ノ儘又立消ニ見タイニ  
ナツタノデアリマスガ、今度ノ衆議院デモ貴  
族院デモ、豫算總會其ノ他ニ於テ、此ノ物  
價ノ統制、或ハ價格ト云フコトニ付テ根柢  
カラ一ツ又再検討スルト云フヤウナコトガ、  
大分質疑應答ガアツタヤウデアリマス、少ク  
トモ食糧品ダケハ御互ニ有無相通ジテ、我  
我ガ其ノ食糧ノ中ノ卵ナラ肉、肉ナラ肉ダ  
ケヲ審議シテ居ツテモ、其ノ需給ダケデハナ  
イ、外ノ食糧ノ需給ニ依ツテ、皆影響ヲ受ケ  
テ居リマスカラ、或ハ是等ヲ何カ纏メテ審  
議サレルト云フヤウナコトハドウデアラウ  
カト云フコトヲ、私はハモウ萬々御了知ノ  
コトデアラウト思ヒマスガ、申添ヘテ置キ  
マス、ドウカ此ノ前ニモ申上ゲマシタガ、  
モウ内閣ハ幾ラ長クテモ或時ニハ迭ラネ  
バナラヌノデアリマスガ、大體二十年位經  
テバ一億ニナルト言ツテモ、現在ノ人口ノ約  
三分ノ一ト云フモノガ殖エテ行クト云フコ  
トヲ見込ンデ掛カラナケレバナラヌ、ソレ  
カラ先モ考ヘテ行カナケレバナラヌ、結局  
先程モ野村委員ナリ、其ノ他カラ申サレタ  
ヤウニ、ドウシテモ民族ハ膨脹スルト云フ  
トニナルト、大陸ト云フコトト或ハ南洋  
ト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、又其ノ  
外地モ、今丁度大臣ノ御話ガアツタヤウニ、  
ソコニ人口ガ非常ニ激増シテ行クコトト、  
ソレガ又ドン／＼米ヲ消費シ出スト云フコ  
トニナル、滿洲モ矢張リ其ノ通リデアラウ

ト思ヒマス、ドウカ一ツソレ等ノ各角度力  
ラノ觀點ニ依ツテ、ドウカ御在職中ニ日本ノ  
民族ノ發展、人ノ膨脹ト云フコトト之ニ對  
處スル食糧ト云フ問題ニ付テノ一つノ成案  
ヲ作ツテ戴キタ一、サウ云フ希望ヲ述ベマシ  
テ當局ノ御苦勞ヲ感謝シテ、私ハ此ノ案ニ  
賛成ヲ致シマス

○松村眞一郎君 私質問ヲ一言致シタク思  
タノデスガ、餘り煩瑣ニナリマスルノデ、  
省略致シテ居タノデアリマス、討論ノ際モ  
實ハ差控ヘヨウト思ヒマシタケレドモ、ド  
ウモ私ノ自分ノ感ジハ、如何ニモ此ノ法制  
ノ上デ自分トシテ不満足ニ感ズルノデアリ  
マシテ、別ニ纏ツテ茲ニ述ベル積リモナ  
カツタノデスガ、政府ガ此ノ主要食糧自給強  
化施設概要ト云フモノヲ、此ノ法律ノ第一  
條ノ規定ニ照應シテ斯ウ云フ参考書ヲ御配  
布ニナツタノデアリマス、ソレヲ見マスルト  
云フト、第四頁ノ所ニ「會社經營」ト云フ字ガ  
使ツテアルノデス、開墾總面積ノ中デ會社經  
營ガ二十五萬町歩、ソレカラ其ノ次ノ第五  
頁ヲ見マスト云フト、「農業水利改良事業」ト  
テアリマス、ドウモ營團ト云フコトガ、初  
メハ會社ト云フヤウナ積リデヤツテ置イテ、  
後デ營團ト云フコトデ急ニヤラレタノデヤ  
ナイカト思フ、斯ウ參考書ニ麗シク書イ  
テアルコトヲ見テ、私ハ餘り練ラタ案デ  
ヤナイト云フコトヲ實ハ思フノデ、サウ云  
フコトヲ言ヒタクハナイノデスケレドモ、  
何トナクドウモ私不備ニ感ジルモノノデスカ  
ラ……元來勸業銀行ナリ中央金庫ナリノ事  
業ノ目的ト云フモノハ法律デ大抵決ツテ居  
ルノデスカラ、勸業銀行ガ此ノ民事局長ノ  
言ハレル所謂中間法人ト云フヤウナモノニ

出資スルト云フコトハ法律上許サレルモノ  
デアルカドウカト云フコトモ私實ハ疑問ニ  
シテ居ル、寧ロ勸業銀行法ノ中ニ一簡條書  
テスル食糧ト云フ問題ニ付テノ一つノ成案  
ヲ作ツテ戴キタ一、サウ云フ希望ヲ述ベマシ  
テ當局ノ御苦勞ヲ感謝シテ、私ハ此ノ案ニ  
賛成ヲ致シマス

○松村眞一郎君 私質問ヲ一言致シタク思  
タノデスガ、餘り煩瑣ニナリマスルノデ、  
省略致シテ居タノデアリマス、討論ノ際モ  
實ハ差控ヘヨウト思ヒマシタケレドモ、ド  
ウモ私ノ自分ノ感ジハ、如何ニモ此ノ法制  
ノ上デ自分トシテ不満足ニ感ズルノデアリ  
マシテ、別ニ纏ツテ茲ニ述ベル積リモナ  
カツタノデスガ、政府ガ此ノ主要食糧自給強  
化施設概要ト云フモノヲ、此ノ法律ノ第一  
條ノ規定ニ照應シテ斯ウ云フ参考書ヲ御配  
布ニナツタノデアリマス、ソレヲ見マスルト  
云フト、第四頁ノ所ニ「會社經營」ト云フ字ガ  
使ツテアルノデス、開墾總面積ノ中デ會社經  
營ガ二十五萬町歩、ソレカラ其ノ次ノ第五  
頁ヲ見マスト云フト、「農業水利改良事業」ト  
テアリマス、ドウモ營團ト云フコトガ、初  
メハ會社ト云フヤウナ積リデヤツテ置イテ、  
後デ營團ト云フコトデ急ニヤラレタノデヤ  
ナイカト思フ、斯ウ參考書ニ麗シク書イ  
テアルコトヲ見テ、私ハ餘り練ラタ案デ  
ヤナイト云フコトヲ實ハ思フノデ、サウ云  
フコトヲ言ヒタクハナイノデスケレドモ、  
何トナクドウモ私不備ニ感ジルモノノデスカ  
ラ……元來勸業銀行ナリ中央金庫ナリノ事  
業ノ目的ト云フモノハ法律デ大抵決ツテ居  
ルノデスカラ、勸業銀行ガ此ノ民事局長ノ  
言ハレル所謂中間法人ト云フヤウナモノニ

出資スルト云フコトハ法律上許サレルモノ  
デアルカドウカト云フコトモ私實ハ疑問ニ  
シテ居ル、寧ロ勸業銀行法ノ中ニ一簡條書  
テスル食糧ト云フ問題ニ付テノ一つノ成案  
ヲ作ツテ戴キタ一、サウ云フ希望ヲ述ベマシ  
テ當局ノ御苦勞ヲ感謝シテ、私ハ此ノ案ニ  
賛成ヲ致シマス

○松村眞一郎君 満場一致ト認  
メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ、是ニ  
テ散會致シマス

〔總員舉手〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御發言モ  
ゴザイマセヌケレバ、本案ノ採決ヲ致シマ  
ス、本案ニ賛成ノ方ノ舉手ヲ望ミマス

スル次第アリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御發言モ  
ゴザイマセヌケレバ、本案ノ採決ヲ致シマ  
ス、本案ニ賛成ノ方ノ舉手ヲ望ミマス

スル次第アリマス

〔總員舉手〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 満場一致ト認  
メマス、仍テ本案ハ可決サレマシタ、是ニ  
テ散會致シマス

出席者左ノ如シ

午後六時二十五分散會

委員長	伯爵黒木 三次君
副委員長	男爵岩村 一木君
委員	侯爵蜂須賀正氏君 子爵野村 益三君 子爵織田 信恒君 松村眞一郎君 内田 重成君 男爵小畠太郎君 下村 宏君

永田秀次郎君  
男爵坊城俊賢君  
三浦新七君  
大藪守治君  
米原章三君  
二瓶泰次郎君  
佐藤助九郎君

國務大臣  
農林大臣

農林次官  
井野碩哉君  
農林省總務局長  
周東英雄君  
農林省農政局長  
岸良一君

石黒忠篤君

永田秀次郎君  
男爵坊城俊賢君  
三浦新七君  
大藪守治君  
米原章三君  
二瓶泰次郎君  
佐藤助九郎君

國務大臣  
政府委員